新しき街

せんがわ・21

2017・春

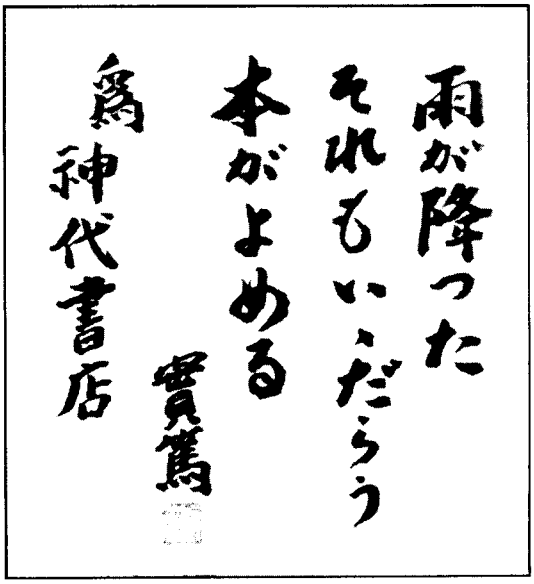


特集 1

せんがわの農・食・いのち

特集 2

主権者教育のこれから



書籍と文具　神代書店

桐朋学園前　☎3300-5633

土●地　売建分仲　買売譲介

住いの
総合コンサルタント

建●物　調測設登　査量計記

地元で創業50年
武蔵野グループ

武蔵野開発株式会社

武蔵野ハウジング株式会社

株式会社後迫（うしろさこ）測量設計事務所

〒182-0002　東京都調布市仙川町1-12　武蔵野ビル　TEL　03（3308）1277（代表）
FAX　03（3309）9121

測量士・一級土木施工管理技士・土地家屋調査士・一級造園施工管理技士

代表取締役　後迫　巖

専務取締役　後迫　武

FELICA
INTERIOR

輸入商品取扱店
陶器・ペルシャ絨毯・キリム・ギャベ

室内装飾＆リフォーム
クロス・オーダーカーテン

仙川町１－１０－４ 第二伊藤ビル１Ｆ
ＴＥＬ０３－３３０５－００２８

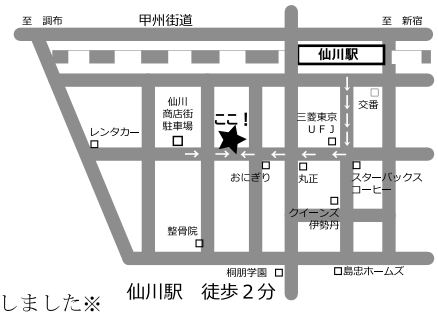
Favorinico ファボリニコ

「**大人の女性がニコニコになれる服**」、「**軽くてカラフルなバッグ**」に出会えるお店

私たちのセレクトしたアイテムが、みなさまの笑顔に変わりますように…
Our favorites always make you smile.

お洋服ブログ、毎日更新中!!
ファボリニコ 検索

営業時間: 10:00-18:00　定休日: 日曜・祝祭日
TEL: 03-5314-2788　WEB: www.tageya.co.jp
調布市仙川町1-10-4 第二伊藤ビル1F



仙川駅　徒歩２分

※ブティックたげ屋は、Favorinico（ファボリニコ）へ店名変更いたしました※

34年目のアジィグループ

こだわりの
ヨーロッパビールが飲める店

áZi Cafe & Bar

調布市仙川町 1-12-1

03-3309-8439
毎週(日)、第1・3(月)定休
18:00～24:00

インポートセレクトショップ

áZi FASHION LIVE SPACE

03-3308-7264
毎週(水)、第1・3(火)定休
http://www.azi.ne.jp

蕎麦前 東風庵

酒 と 本格手打ちそば

03-3307-8000
調布市仙川町1丁目8－3
毎週(月)、第1・3(火)定休
teiko@kochian.jp



大塚矯正歯科医院

歯並びに関するお問い合わせ・ご予約はお電話にてお願いいたします

Ohtsuka Orthodontic Office

TEL3308-0707

休診日　日・祭・金曜日
診療時間　10：00～13：00　15：00～18：30

直営工場だからこそ安く出来ます。
リサイクルパーツもお取り寄せ OK
ホームページも是非ご覧ください！

多摩ボデー整備

〒182-0005　東京都 調布市 東つつじヶ丘 1-15-3
TEL：03-3307-6105　FAX：03-3307-5105

多摩ボデー整備
まずは WEB で検索♪





せんがわ





わかば


山内ブドウ園
8月下旬～9月上旬
ブドウ狩り
調布市特産
安芸クイーン
多摩豊
紅伊豆
巨峰


調布都市計画
生産緑地地区
調布市
324
災害時協力農地







いりま









東つつじがおか













山梨ぶどう日和









もっと手軽に自然と触れ合ってもらう機会を作りたい

山内ぶどう園　園主　山内美香

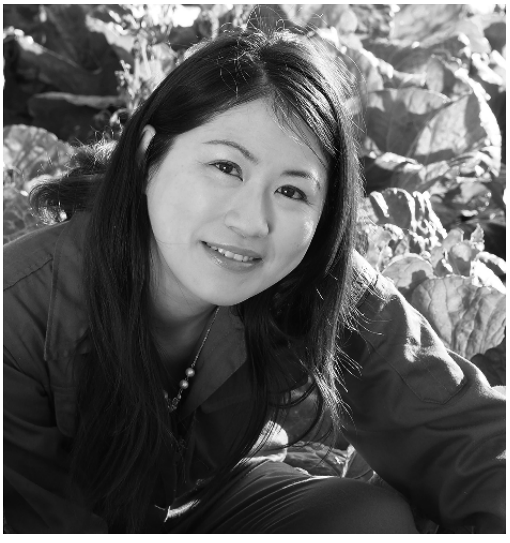
じゃがいも掘りを楽しみに来園されたファミリーが勇んでジャガイモを掘り始めた時、お子さんがミミズを発見し「お母さん、ミミズがいたよ。」と叫びました。お母さんが子どもに駆け寄り「ミミズね、お母さんも久しぶりに見たわ。」微笑むと、それを見ていたお父さんがミミズをつまみあげました。お子さんはミミズを恐る恐る受け取ると、いつまでも見つめていました。ご両親もじゃがいも掘りを忘れてミミズに夢中になっている息子に話しかけていました。

このやりとりをみて、収穫よりも寧ろ自然と触れ合うことを大切にする方が多いことに気づきました。自然と触れ合うことについて子どもだけでなく、大人も夢中になるということは、私にとって大きな発見でした。来園される方たちは、日常生活では自然と触れ合う機会がないんだなと実感しました。

山内ぶどう園では、四季を通して旬の野菜やフルーツを収穫して頂く体験イベントを開催しています。とりたて野菜やフルーツ独特の瑞々しさや香りを感じて貰うため、収穫したばかりの食材を使ってランチを作るプログラムを提供しています。例えば、去年の春に開催したポテトチップスやビシソワーズをつくる「ジャガイモづくし」のイベントは、多くのお客様にご来園頂きました。その後、もぎとったばかりの柿をクリームやジャムと共にピザへ乗せてたべる「デザートピザを作る」イベントも開催しました。

東京都を中心に、神奈川県、埼玉県などからお客様がいらっしゃいますが、皆さん口々に「近所には体験できる農園がないので。」とおっしゃいます。イベントの最後に「お陰様でリフレッシュ出来ました。明日から仕事頑張れそうです。」と声を掛けて下さった女性の笑顔を見て、普段自然と触れ合う機会が少ない都会の方にこそ、このような農園が必要なのだと感じました。

子どもの頃から比べると周辺の畑は格段に減り住宅化が進んでしまいます。住宅地の合間を縫うように残る畑に対し、その必要性を疑問視する意見があります。しかし、地元で採れた新鮮な野菜を食べたい、もっと気軽に自然と触れ合いたいというニーズは確実にあります。農園はその受け皿として存在するだけではなく、人に安らぎを与えてくれたり、農作業で五感を刺激したりと、その重要な役割を持っていると思います。その役割を多くの方々に知って頂くことこそ、農園を引き継ぐ者の使命なのではないでしょうか。



私はこれからも様々なイベントを通じて、沢山の人に自然体験をして頂くことで、農園の可能性を探り続けたいと思います。これが皆様に小さな気づきを与え、日常を彩ることが出来たら、園主としてこれ以上嬉しいことはありません。

（若葉町3丁目）

いつでも、どこでも、24時間年中無休であなたをお待ちしています。

セブン-イレブン 調布仙川店

甲州街道沿い　仙川駅入口

東京都調布市仙川町３－２－１

電話０３－３３０５－０７１１

創業昭和二十二年

そば処 幡乃屋

仙川商店街通り中央　☎3300－3715



ヘアースタジオ キャラ

理容 3300・3000　美容 3300・9000

赤ちゃんの筆

赤ちゃんの髪の毛で作る
世界にひとつの胎毛筆



キャラ代理店

9:00～19:00　毎月曜と第２・第３火曜休　仙川町 1-15-31　島忠の前

日本テレビ・週刊文春にて紹介されました

味の店

とんかつ仙川

各種宴会40名様迄御相談下さい

仙川駅前ツタヤとなり　☎3309-0144

味の店　11時～15時/17時～23時

伝統が生んだこだわりの味

一富士



京王線仙川駅前
(ホーム上)

火曜日定休

でんわ 3309-5510
イイトン

魚貝料理と釜めし

なみはな

営業時間　AM 11：30～PM 2：00（ランチタイム）
PM 5：00～PM 11：30

仙川町 1-4-28　☎3307-9854

いわし料理・天ぷら
うな重・なべもの

こしじ

ご宴会 25 名様まで

03-3308-9457

中華料理

萬來軒

ご宴会 30 名様まで

03-3308-9288

仙川駅改札口東側線路沿い

せんがわ・21
2017・春

せんがわの農・食・いのち／主権者教育のこれから

■口絵写真　仙川農業情景
　　山内ぶどう園の食イベント
□巻頭言　手軽に自然と触れ合ってもらう機会を　山内美香 …… 1
■第１特集　せんがわの農・食・いのち～都市農業と市民の交歓 …… 4
◦調布・せんがわ地区の農業について　大平守 …… 4
◦農家と飲食店と販売店は今（アンケート結果） …… 6
・仙川・入間上・入間下地区の農業 …… 6
・「農・食・いのち」への飲食店のこだわり …… 8
・「野菜・果物の仕入」への青果店のこだわり …… 9
・山内ぶどう園の食イベント参加者の感想 …… 11
・各地の郷土食や世界の民族食を給食に　鹿島早苗 …… 12
・ロサンゼルスの街づくりと食べ物　アン　マクナイト …… 13
・道楽としての農業　桑原昇 …… 14
・仙川の農業について　川口三八 …… 15
・資料編「せんがわ」の農業の歩み　山岡義典 …… 16
・調布市／せんがわの生産緑地　調布市都市計画課 …… 17
□せんがわの農産物直売所ほか一覧 …… 19
□マップ 21　まちなか農地と直売所をめぐる　仙川地図研究所 …… 20
■第２特集　主権者教育のこれから　～「18 歳初選挙」特集を読んで～ …… 22
・18 歳目線で思うこと　須鎌千晶 …… 22
・高校現場の主権者教育の一事例として　飯島望 …… 23
・主権者教育と大学　大久保成 …… 23
・18 歳選挙権の第１回実施～検証と深化をめぐって　柗田悠子 …… 24
・〝選挙権〟がどんなに大切なものか　東間紀子 …… 25
・欧米と日本の若者たち世代の今　安宅りさ子 …… 25
・「18 歳初選挙」特集を読んで　古橋研一 …… 26
・いま憲法について考えること　堀尾輝久 …… 27
○ちょっと質問と回答　神明様～滝坂皇大神宮　根岸繁雄　蔵見昭八 …… 30
□大きな五つの輪～元三大師参詣道標のつぶやき　内田武 …… 31
○せんがわ誌「コミュニティ防災力」特集を読む　伊藤昭 …… 34
○イベントカレンダー …… 33
□コラム
・わが故郷、仙川　西尾理 …… 35
・カウンターで思わずメモしたお話　尾崎聖 …… 35
○ショッピングモール …… 37
□まちニティショップカタログ …… 38
□編集・制作スタッフ　人財・カンパ大募集 …… 39
□編集室　奥付 …… 40
■グラビア　園学ギャラリー／コトリボイス／ Bless ／仙川フィックスホール

の農・食・いのち



～都市農業と市民の交歓

おいしいものを、親しき人たちと共に味わい、談笑するのは、なんと〝至福の時〟でしょう。食べることが楽しみ、料理するのが好き、野菜や果物を作ることが生きがい、農家と出会いその生産物を消費者に届けることが働きがい……。そんな多様な人たちの百花繚乱なコラボの場づくりは、今、せんがわコミュニティでは。新たな豊かな出会いを拓くべく、多彩な人たちに登場いただき一大特集を企画・構成しました。ゆったりと堪能し、ご賞味くださいませ！

調布・せんがわ地域の農業について

調布市　大平　守

調布市をはじめとする都市の農地は、後継者不足や相続税支払いによる農地の売却などにより、減少の一途をたどってきた。調布市においては、10年前には、農地が一八一・一ヘクタールであったが、平成28年には一四六・四ヘクタールに減少し、毎年多くの農地が宅地化されてきている。

これまでの都市部市街地における都市計画施策は、どちらかというと、都市の不足する住宅の供給のため、また産業用の土地確保のため、農地は宅地化すべきものとの考えであった。このようなことから、東京都の耕作面積も昭和50年には、一四、五五七ヘクタールであったものが、平成25年には七、四〇〇ヘクタールへと、およそ40年の間に半減している（東京都産業労働局資料）。

しかし、時代の大きな変化の中で、都市における農地への認識が変化し、農産物の供給という本来の機能以外に、災害時における一時避難場所としての機能、良好な景観形成としての機能、都市住民の農業体験・学習の場としての機能など、農地が持つ多面的な機能が大きく見直されるようになってきた。調布市が実施した平成27年度の市民意識調査によると、市内に農地が必要だと思っている人の割合は、「必要である」、「どちらかといえば必要である」を合わせて87・9％を占めており、ほとんどの市民が農地の必要性を感じている。

調布市の農地面積は、一四六・四ヘクタールで、市域のおおよそ6・8％を占めている。せんがわ地域は、調布市の東部にあたり、町名でいうと、緑ケ丘、仙川町、若葉町、入間町、東つつじケ丘と思われるが、その面積は、二八九・五ヘクタールであり、農地面積は、一八・八ヘクタールである。よって、農地の占める割合は、6・5％となり、調布市の中では農地が占める割合が小さいが、東京23区に隣接していることを考慮すると、比較的農地が残っているのではないかと考えられる（平成28年度固定資産概要調書）。

調布市の農業の特徴は、消費者との距離が近いため、消費者が望む農産物が多品種にわたって生産されていることである。出荷額では、トマトを筆頭に、こまつな、

せんがわ



主な農産物の販売時期

品名＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
キャベツ	■										■	■
白菜	■	■									■	■
ブロッコリー	■	■									■	■
カリフラワー											■	■
ほうれん草	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■
小松菜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
茄子						■	■	■	■	■		
きゅうり						■	■	■	■			
トマト						■	■	■				
とうもろこし						■	■	■				
枝豆						■	■	■	■			
いんげん						■	■	■				
大根	■			■	■	■			■	■	■	■
かぶ			■	■	■					■	■	■
人参	■	■	■				■			■	■	■
じゃがいも	■	■				■	■	■	■	■	■	■
里芋	■	■								■	■	■
さつま芋											■	■
南瓜							■	■				
玉ねぎ						■	■	■	■	■	■	■
ねぎ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
梨								■	■	■		
ぶどう									■			
栗									■			
柿											■	
梅						■						
キウイフルーツ											■	
いちご					■							
ブルーベリー						■	■	■				

ぶどう、えだまめ、なすなどが続き、野菜の作付面積では、こまつな、ブロッコリー、えだまめ、キャベツ、ほうれんそうなどである。出荷先は、農協、近くの大型スーパーマーケットなどのほか、自宅の庭先でも販売している。朝、収穫したばかりの新鮮な農産物を身近な場所で購入できるのも都市農業の魅力のひとつである。ちなみに、平成27年度の市民意識調査によると、市内農家の農産物直売所を利用したことのある人の割合は、調布市全体で6割近く、東部地域では、5割弱となっており、比較的多くの市民に利用されている。

また、果樹も生産され、ぶどう、くり、かき、ブルーベリー、キウイフルーツ、いちごなどの多くの品種が栽培されており、せんがわ地域でも、ぶどう、いちご、柿などが生産されている。ぶどうは甘みの強い東京都が品種登録した「高尾」を栽培しているところもあり、都会にいながらにしてぶどう狩りができる農園もある。

昨年、「調布市農産物直売所マップ（平成27年度）」を内容一新して作成した。農家の庭先での直売所、ブルーベリー、いちご、ぶどうなどの摘み取り・もぎ取りができる「観光農園」、市内産の農産物が置いてあるスーパーマーケットなどの販売所を表示し、主な販売品目、販売時期などを掲載している。市役所農政課・各地域福祉センターなどで無料で配布している。

近年の都市農地の必要性の高まりの中、平成27年4月に議員立法により、都市農業の安定的な継続を図るとともに、農地の多様な機能の発揮を目的に都市農業振興基本法が成立し、平成28年5月には、法律に基づき都市農業振興基本計画が閣議決定された。その計画では、農地は、良好な景観の形成、新鮮な農産物の供給、災害時の防災空間等々の多様な機能を持つものと捉え、都市農業を安定的に継続し良好な都市環境の形成をするため、国等が講ずべき基本的施策を策定するように求められている。

今、都市計画政策は大きく転換し、既成市街地におけるこれ以上の宅地化は必要なく、農地は守られるべきものとなったのである。調布市においても、都市農地を継続できる具体的な施策の実現を国に求めるとともに、調布の農業が魅力あるものとなっていくよう支援していく。

また、自分で作付けから収穫までの農作業を行うことができる市民農園を13カ所、また、農園主の指導を受けながら農作業を行う農業体験ファーム5カ所、せんがわ地域でも入間町1丁目に1カ所（入間ふれあい農園）を設置するなど、市民が農に親しむ機会の場の提供に努めている。

（生活文化スポーツ部農政課長）

農家と飲食店と販売店は今

たべ～る　つく～る　とどけ～る

アンケート回答

〝せんがわの農業〟のテーマについては、38年前の本誌第3号で、同様の特集をしております。山内牧場では牛が放牧され、1日一、二〇〇本のミルクに、また、川口農園には二、〇〇〇羽の鶏が生む地玉子のグラビア情景が……。小センターのHPでご高読いただけます。

さて、今回は農家の皆さんとともに、飲食店や販売店の店長さんたちへのアンケート調査を実施しました。安全・安心で美味なる〝農・食〟の地産地消コミュニティを拓きましょう。ご回答に深謝!!

仙川・入間上・入間下地区の農業に係る調査

Q1・いつの年代から、農業を営んでおられますか。あなたは何代目ですか。

Q2・現在、どんな作物（野菜・果物・花卉・苗木等）を作っておられますか。

Q3・仙川以外への通勤農業をしておりますか。どこの市町村ですか。そこでの作物は。

Q4・主な出荷先はどこですか。庭・畑先での直売りをしていますか。仙川の青果店や飲食店に直売ありしていますか。今後、リクエストがあれば、可能ですか。

Q5・仙川で農業を継続していくために必要なことは何でしょうか。

Q6・近隣住民の皆様に期待したいことは。援農したい住民を受け入れることは可能ですか。

Q7・仙川での農業の展望はいかがですか。

仙川町

■伊藤義男（77歳）

❶七代目　❷夏／キュウリ、ナス、ズキーニ、インゲン、ピーマン　秋／ミカン、カキ、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、大根、人参、白菜　冬／甘夏みかん、小松菜、ほうれん草、里芋　❸なし　❹直売している。（リクエスト）可能でない　❺毎年継続して作ること　❻なし　❼自分で終わり

若葉町

■山内美香

❶徳川初期から。20代目になります。　❷春／筍、絹サヤ、スナップエンドウ、じゃがいも、玉ねぎ、椎茸、水菜　夏／ぶどう、トマト、きゅうり、茄子、ゴーヤ、ズッキーニ、とうもろこし、にんにく　秋／柿、イチジク、さつまいも、かぼちゃ、じゃがいも、ラディッシュ　冬／里芋、大根、白菜、カブ、小松菜、ほうれん草、からし菜、正月菜　❸しておりません。　❹全ての仙川のお店とな

ります。クイーンズ伊勢丹仙川店の直売コーナー、納々屋、福寿、籔、蒔。また、畑の一角にある直売所で不定期に野菜を販売しています。❺都市農業としての強みを活かした経営計画を立てることだと思います。お客様に農業体験をして頂き、物だけでなくサービスを提供することも方向性の一つだと考えています。そのためには、少量多品目栽培が重要となります。❻農業をする上で近隣の方々にご迷惑おかけすることがあると思いますが、温かい目で見守って頂きたいと思っています。援農について、現時点では受け入れてる体制が整っていませんが、前向きに考えていきたいです。❼飲食店や学校、アーティストグループなど、地元の様々な分野の方々とコラボして、地域の方に楽しんでいただけるようなイベントをいずれ開催したいと考えています。

入間町

■永野恵子（62歳）

❶十五代目　❷春／キャベツ、大根、たけのこ　夏／じゃがいも、キュウリ、トマト、ナス、インゲン、ピーマン、オクラ　秋／サツマイモ、里芋、キャベツ、ブロッコリー　冬／白菜、大根　❸なし　❹旬の野菜を庭先販売しています。秋には団体向けにサツマイモと大根の収穫体験農園をしています。❺近隣の皆様の理解　❻とりたて野菜のおいしさを知っていただき、野菜を購入していただくこと。❼都市化に負けずに自然と向き合っていきたい。

■蔵見洋久（51歳）

❶約四〇〇年位と聞きました。13代目　❷春／絹サヤ、スナック、エンドウ他　夏／ナス、ピーマン、オクラ、トマト他　秋／大根、キャベツ、ブロッコリー他　冬／白菜、大根、ネギ他　❸していない　❹クイーンズ伊勢丹仙川店他　❺特になし　❻特になし、受け入れられない　❼悪くない

■鈴木英夫（78歳）

❶明治時代、七代目　❷春／ブロッコリー、小松菜、ラディッシュ、ほうれん草、春菊、金魚草他　夏／小松菜、春菊、アスター他　秋／白菜、大根、小松菜他　冬／小松菜、ブロッコリー、ほうれん草他　❸なし　❹クイーンズ伊勢丹仙川店、いなげや仙川店（JAマインズ直売店として）　❺後継者問題、相続税の抜本的改革（軽減）　❻朝どり新鮮な野菜を購入してもらうこと。（援農は）不可能　❼よくわかりません

■栗山清治（74歳）

❶父母年代から手伝っていました。若い時からこの年まではたらいていました。24代目で家はだいぶふるいです。　❷春／大根、ホーレン草、小松菜　夏／トマト、ナス、キューリ、野菜は全部いろいろ秋／枝豆、キャベツ、カリフラワー、ホーレン草　冬／大根、キャベツ、ネギ　❸していません　❹東京都中央卸売世田谷市場（東京荏原ベジフル株式会社）あとは庭先直売しております。　❺別にありません　❻農家はだんだんやりずらくなった　❼住宅が多いのでとてもやりずらい。農家がだんだん少なくなるのでさみしい

■清水忠一（67歳）

❶江戸時代のいつ頃か不明でありますが、私は16代目です。　❷春／すいか、ホウレン草、小松菜、大根　夏／カボチャ、スイスチャード、水菜、大豆　秋／大根、チンゲン菜、キャベツ　冬／ブロッコリー、里芋、みかん、白菜、サツマ芋　❸入間町のみで農業を行っています。　❹農業は一人でやっていますから、直売のみ行っています。　❺私は、多品種の物を生産することだと思います。　❻みなさんが安心して食べていただける野菜作りをやっていますので、多くの方に来ていただきたいものです。住民の受け入れはしません。❼この地域では、農業だけで生活するには50アール以上の畑をやらないとむりでしょう

■新井七吾（74歳）

❶江戸時代後期、享保年間より農業をしています。私で十二代目に当たります。　❷春／大根、小松菜、カブ　夏／トマト、ナス、キュウリ、ズッキーニ　秋／小松菜、京菜、チンゲン菜、大根　冬／小松菜、京菜　❸入間町以外に農地はありません。　❹すべての野菜は庭先販売で直売しています。契約栽培は出来ません。　❺生産者と消費者が直結しているため低農薬栽培に心掛ける。消費者が欲し

い野菜を作る。朝どり対面販売に心掛ける。❻住宅やマンションに囲まれている農地。音や臭いに寛容で欲しい。過去には援農を受け入れていたが、現在は受け入れできません。❼新鮮な野菜を提供している農地、いろいろ課題は多いが農地を残して欲しいと思います。

東つつじヶ丘

■新井佑一郎（37歳）
❶五代目 ❷春／キャベツ、小松菜 夏／枝豆、ジャガイモ 秋／ブロッコリー、ルッコラ 冬／大根、ほうれん草、ネギ ❸していない ❹JA直売所、クイーンズ、いなげや、仙川の飲食店3店舗 ❺やる気 ❻地場野菜に対してもっと興味を持ってもらいたい。援農受け入れは未定 ❼スーパーでも地場野菜のコーナーが人気あり。飲食店とのつながりを増やしていきたいと感じている。

■元木隆（71歳）
❶明治より5代目ぐらいはわかっているが？ その前はわからない ❷春／さやえんどう、じゃがいも 夏／ぶどう 秋／さつまいも、大根、カブ 冬／小松菜、八ツ頭 ❸なし ❹調布たちばな幼稚園の子供達のためにが主体 ぶどう、じゃがいも、さつまいも、大根、カブ等の野菜

■元木幹夫
❶一六〇〇年頃～ 13代目 ❷大根、小松菜、法蓮草、人参、みかん、シークワーサー、甘夏、ハウスによる「いちご」 ❸ナシ ❹クイーンズ伊勢丹仙川店、いなげや調布仙川店、いなげや狛江東野川店、マインズショップ狛江、神代農業物直売所「うまいんず」 ❺自然環境への対応 ❻近隣住民の協力（農業に対しての理解、土ほこり等… ❼農地が有る限り、農業の未来は有る

「農・食・いのち」への飲食店のこだわり調査

Q1・食材の安心・安全・美味へのこだわりは？
Q2・どこの農園からどんな食材を仕入れておられますか。
Q3・仙川エリアの農家へのリクエストがあれば、どうぞ。
Q4・調理へのこだわりは？
Q5・残った食材や料理のリサイクルについて、何か工夫しておりますか。
Q6・仙川地区に〝再資源装置（堆肥化、炭化等）〟があれば、野菜・果物等、魚介系、肉等の分別に協力いただけますか。

■中国葉館 福寿 仙川町
❶無化調。自家製調味料（全てではない） ❷仙川、調布、世田谷 ※農園は特に固定していない。ランチのサラダバーの野菜の大半とディナーメニューで中心に使用、種類も特に固定していない ❸仙川に限らず、都市郊外でこれだけ美味しい作物が出来ることを知らない方は多いので、調布野菜の販促をもっと行うべき ❹作り置きしない（製品として） ❺まかないの材料として使用 ❻細分化する。分別は店としては困難。現状が限界に近い

■西洋料理の店「ぱんぷきん」仙川町
❶自分で仕入れをして、味をみる。 ❹シンプルに、気持ちをこめて作る ❹残った食料はマカナイで！ ❻イエス

■蒔 和食 仙川町
❶美味しい料理を追求すれば、自然に安心・安全になる。 ❷仙川（山内農園さん かぶ、大根、茄子、椎茸など）その他（日本全国や諸外国）その時々の旬のおいしいもの ❸いつもおいしい野菜をありがとうございます ❹季節感、色あい、食感、食事のはじまりからおわりまでのバランス、食後感 ❺全部賄いで食べています。 ❻できるかぎり協力させていただきます

■和の食彩 篤 仙川町
❶産地の表記はもちろんですが、野菜に関しては生産者とできる限り関わりを持ち、考え、気持ちを大切にしています。農薬なども重視はしていますが、それよりも鮮度に気を使っています。魚介類は必ず市場に出向き、自分の目で選

び、旬の物を使います。冷凍物は使いません。❷仙川　調布（特に決まっていませんが、その日に収穫された物）❸年々発展している農業に常にアンテナを広げていただけてたらうれしいです。調布野菜というブランド化　❹化学調味料を使わず、素材を大事にする様心がけています。形にとらわれず、今の時代に合わせた料理を考えていますが、古き良き物や伝統は守っていきたいです。❺捨てる所はほとんどありません。まかないに回ります　❻できる限りの協力はしていきたいです。

■ごはんＣａｆｅ　空彩　和・洋　若葉町

❶できる限り、生産者と直接やり取りをして、その声を伝えられるようなものを使いたいと思っております。何度も来ていただければ、好みも見えてくるので、人によって味の濃さ等調整してます。❷つつじが丘：ＳＵＲＦＡＲＭ（野菜）北海道藤野ワイナリー農園（ワイン）北海道新十津川：松本農園（米）など　❸各農家の特徴や生産者の紹介、出荷場所や販売場所をまとめたような農家マップを作ると、地元の野菜に興味を持つ人が増えると思います。❹家庭料理のような、ほっこりするものを意識している。栄養に気遣って、野菜やお魚を多く取り入れて、毎日来ても飽きないようなメニューを用意している。盛り付けや器もできるだけ、家庭感を出すよう心掛けている。❺工夫して、小鉢のお料理にする等している。それでも残る場合は自分で全部食べています　❻できる限り協力いたします

■焼き肉ホルモン美濃や　若葉町

❶全て自身で、観て、感じて、食べて、相手（仕入先）と信頼関係を得ること。❷秘密　❸無農薬にこだわりがある所。土じょうにも気をくばること。あと排気ガスなども　❹できる限り食材の素の味を活かす。❺なるべく残さない。❻少量しかでないため、協力できるレベルかわかりませんが、協力できます。

■ｂｅ―ｅｓ

❶無農薬、オーガニック、減農薬の野菜・果物を中心にメニュー作りをしています（援農農家より）❷その他（全国から）❸仙川、調布でオーガニック野菜を扱っている農家さんと出会いたい。❹作りをしている。❻うちは野菜・果物しかない。非加熱（Cold Pressed）❺ジュースを絞った後に固形で残った物をカレーに利用したり、クッキー

「野菜・果物の仕入」へ青果店のこだわり調査

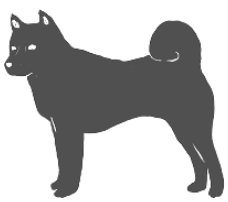
Q１・食材の安心・安全・美味へのこだわりは？
Q２・どこの農園からいつ頃にどんな青果を仕入れておられますか。
Q３・仙川エリアの農家へのリクエストがあれば、どうぞ。
Q４・仙川エリアの家庭・消費者へのアドヴァイス？
Q５・残った野菜・果物のリサイクルについて、何か工夫しておりますか。
Q６・仙川エリアに子ども・高齢者・単身者等の〝みんな食堂〟があれば、ご支援・協力いただけますか。

■㈱いなげや調布仙川店

❶オーガニック食品、自然栽培商品の取扱いをしています。❷春夏秋冬（どこ：ＪＡ神代直売会）（どんな：各生産者の生産した野菜、果物類）

■森のテラス

❶昔ながらの作り方。顔が見えるということ。❷春／山菜　夏／山菜や夏野菜　秋／米や山菜、根葉、豆類、すべて森のテラス（秋田農場）❸季節の楽しみです。是非これからも頑張って欲しいです。❹直売で買う楽しみを感じて欲しい。生まれるコミュニケーションがある。❺漬物にする。残さない。自家消費　❻出来ることがあれば微力とは思いますがお手伝いします。



コラム

JAマインズ神代地区内の3支部

調布・狛江・府中市域でJAマインズ（マインズ農業協同組合）を構成し、府中に本店があり、13支店がおかれている。

せんがわ地域は、仙川支部（緑ヶ丘1・2丁目、仙川町1～3丁目）、入間上支部（若葉町2・3丁目）及び、入間下支部（入間町1丁目の一部、東つつじヶ丘2・3丁目）。

組合員は仙川48戸、入間上40戸、入間下46戸ですが、第2種兼業農家としては、4戸、6戸、6戸の計16戸のみとなっている。

神代農産物直売所について

新鮮な市内産農産物を市民に安価にて提供するために、神代地区の農家32戸で構成。神代農産直売所「うまいんず」、クイーンズ伊勢丹、いなげや等に出荷している。

グローバルGAPって何?

農産物生産の基盤となる農場における、野菜・果物の栽培や家畜等の飼育の全プロセスでの安全管理と環境保全に係る国際認証。日本の生産者は、海外への輸出を想定してこなかったために、取得している農場は極く少ない。青森県立五所川原農林高校では、15名の生徒たちがりんご園1・6haにて取得し、話題となった。

二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックには、世界の選手・コーチ団に約二、〇〇〇万食が提供される。現状では、日本国内から仕入れる農作物では全く足りないという大問題となっている。国内においては、日本GAP協会が、〝J GAP〟の認証に取り組んでいる。生産農家から農業経営者に進化し、第6次産業の要となることが期待される。

マカロンとフランス菓子のお店
gâteaux maison
Jarrive
ガトーメゾン ジャリーヴ
調布市若葉町 1-31-31
☎03-3300-6005
月火 定休日
水-金 12:00-18:00
土-日 10:00-16:00

ごはんCafe
空彩 SORAIRO ～そらいろ～
11：30～15：00
17：00～23：00
070-6409-3413
若葉町 2-25-15 ラ・ヴィオーラ 102

画材・額縁
mottet
実篤公園通り入り口 ☎ 3300－8287

HIGH QUALITY in GOOD TIME
sunrise photo house
株式会社サンライズ現像所 東京都調布市仙川1-19 telephone.03-3300-6808

靴・鞄修理 鍵・合カギ
ちゃっぷりん
仙川町1-12-2 TEL03-3307-6959

新しい絵本から戦前の古書・紙資料まで
文紀堂書店
古いモノ大切にします
0120-540-446
仙川かおる幼稚園隣

仙川の呉服屋さん 着付もどうぞ
きものさろん服部
桐朋学園正面通り ☎3309-6348

コトリボイス
KOTORIVOICE
声優・ナレーション・イベント司会
三軒茶屋から引っ越して来ました。仙川の皆さん、何卒よろしくお願いします。

山内ぶどう園の食イベント参加者の感想から

【カルツォーネのイベント】

3歳の娘と参加させて頂きました。お野菜を収穫し、ジャガイモはポテトチップスにしてもらい、娘は大喜びで何度もおかわり！　ピッツアは好きなようにトッピングも楽しめ大満足。楽しみにしていた白菜のポタージュも美味しかったです。娘も自然の中、大いに楽しんで、帰途につきました。ホストの山内さんもご一緒に参加された方達も素敵な方々で、素晴らしい時間を本当にありがとうございました。

【リース作りのイベント】

クリスマスリースを作りたくて、たまたま案内を見つけて参加しました！　メインのクリスマスリースも土台の木を選ぶところからやるので手作り感満載です。うまくできないところはホストの山内さんに手伝っていただきました。お野菜と柿の収穫体験までさせていただき、畑の中を歩くのがとても気持ちよかったです！　お昼の採りたてのお野菜を作ったパスタとサラダもとても美味しかったです♪　お茶と一緒にいただいた柿も美味しかった～。リースは早速家の玄関に飾りました！　また季節を変えてお伺いしたいです。

【柿のデザートピザのイベント】

①釜に火をつける所から始まりピザ生地を捏ね、カマやスコップを使い野菜を収穫し、ピザを作り釜で焼いて出来立てをいただく……普段は経験することが出来ない貴重な経験が出来、親子で楽しい思い出となりました。ホストファミリーの方々が野菜を収穫しながら美味しい食べ方、保存方法等を教えて下さったり、ピザが出来るまでポテトチップスを揚げたり、最後にミントティーをご用意して下さったりと温かなご配慮が沢山あり、また行きたいと思える体験となりました。野菜ピザや柿ピザがとても美味しくて自宅でもおやつに作ってみたいと思います！

②2歳半の子供と同年齢の友人親子と参加しました。芋堀り、柿やベビーリーフ、ゴーヤを収穫。柿の品種やベビーリーフの育て方（手がかからないのでプランターでもできるとのこと）など、ていねいに補足情報をつけてくださり、収穫だけでなく学びがあったのがよかったです。

ピザ釜への火入れに始まり、ピザ生地づくり、ピザが焼けるのを待つ間にホストのご主人が揚げてくださったじゃがいもやサツマイモを使ったポテトチップもとてもおいしく、大人気。野菜のピザにはトマト、ガーリック、バジルなどのソースやチーズ、フルーツピザには自家製のカスタードクリームやイチジク、ブドウ、柿を使ったジャムなど様々なトッピングが用意され、とても楽しめました。ホストの奥様の細やかな気配りとメリハリのある仕切り、ご主人のおおらかでフレンドリーな対応（子供がすっかり懐いてしまいました）、本当に素晴らしかったです。

③夫と子ども2人で参加しました。到着するなり、子ども達は、広い農園に、たくさんのどんぐりを発見！　終始跳び跳ねる大はしゃぎぶりでした。今回一番驚き、感激したのが、茄子、ゴーヤ、柿（2種）、葡萄、しそ……と、様々な種類の野菜・果物の収穫体験でした。また、ポテトチップスに大きな栗、食べきれないほどのボリューム満点のピザ。おもてなしの数々に、心もお腹も大満足でした。

1歳10ヵ月の息子は、ご主人にサッカーをしてもらい大喜び。4歳の息子は、初めて見たかぶと虫の幼虫に大興奮！　持ち帰らせて頂いた幼虫は、大切に育てます。大人も子ども、心から楽しめる素晴らしい体験でした。

【福寿とのコラボイベント～ナスをメインとした中華料理】

3歳の娘と初めて参加しました。人見知りの子どものため、他の参加者のお子さんとうまくやれるか心配でしたが、すぐに溶け込むことができました。収穫体験前に、自己紹介があり、保護者同士もコミュニケーションができたのがよかったです。野菜の収穫だけでなく、調理方法のレクチャーや、その場での試食など貴重な経験をすることができました。今後も、ぜひ参加をしたいです。

【新じゃがいもづくしのイベント】

①小1の娘と参加しました。じゃがいも堀りに、きゅうり&なすの収穫までさせていただきました。子供たちは、野菜の収穫に夢中でしたね。堀りたてのじゃがいもは甘くてねっとり～。ポテトチップスとトルネードポテトは揚げたそばから子供たちが食べていましたね。私は、じゃがいもディップが気に入り、家でも作りました。夏日でしたが、竹林からの風が涼しく快適なクッキング&ランチでした。最後は竹林やぶどう畑まで案内していただき、畑を満喫しました♪

②幼稚園児の子と父である私の2人で参加しました。収穫したばかりの新じゃがは瑞々しく、普段はあまり野菜を食べない子供もおなかいっぱい食べておりました。野外での油を使った調理、食事も珍しい体験で、親子で大満足です。また、ぶどう狩りにも参加しようと思います。

③じゃがいも掘りやご飯作り、竹やぶでちゃんばらごっこ等、普段できない自然体験に、子供達のテンションは上がりっぱなしでした。何より収穫したばかりの新じゃがの瑞々しさと甘さは驚きでした。油で揚げただけのポテトチップスは、調味料なしでもじんわり甘くて、とってもおいしかったです。

各地の郷土食や世界の民族食を給食に

緑ヶ丘小学校　栄養士　鹿島早苗

緑ヶ丘小学校では、旬の食材を使った季節の行事食、世界の料理や日本各地の郷土料理を取り入れ、バラエティー豊かな献立になるように心掛けています。児童の希望を反映した献立給食、バイキング給食、日本の暦や学校の行事に関わる給食、世界の料理や日本各地の郷土料理などがあります。今回は、オリンピック・パラリンピックやワールドカップなどの開催国の料理、あるいは先生方にゆかりのあるご当地メニューを紹介したいと考えました。

まず始めに、1学期は子供たちに調理員さんのことを身近に感じてもらおうと、沖縄県出身の調理員さんからご当地メニューを提供しました。校内放送で沖縄地方の音楽を流すとともに、調理員さんからメニューを沖縄の方言で紹介してもらいました。子供たちは、音楽に合わせて踊ったり、初めての味を楽しんでくれました。また、オリンピック・パラリンピックの開催国であるブラジル共和国料理を研究し、7月の給食で紹介しました。

次に、校長先生の思い出の地であるベネズエラ・ボリバル共和国の料理を紹介したいと考えました。そこで、大使館にお伺いして趣旨を説明し、代表的な料理を教えていただきました。担当の方は料理がとてもお得意で、緑ヶ丘小学校という名前から「グリーンライス」という特別メニューを考えてくださいました。レシピによる試作を繰り返し、大使館の方の了解を得て決定しました。直前の全校朝会では、校長先生が3年間過ごされた同国をスライドで紹介、当日は、大使館の方々をお招きし、3年生は音楽で、6年生は給食時間で交流をしました。民族音楽が流れ、大使館の方による、お国紹介のテレビ放送を見ながら、食文化を体験したことを子供たちはとても楽しんでくれました。準備は大変ですが、子供たちの反応を見ていると、とても嬉しく、やりがいに変わります。



グリーンライス

このような取り組みは、先生方をはじめ、学校全体の協力がないとできません。貴重な経験をさせていただき、とても感謝しています。

緑ヶ丘小学校は、親子給食方式

です。食数は、児童三二二人＋教職員四〇人と、近隣の第八中学校生徒二五一人＋教職員26人の合わせて約六四〇人分を栄養士1人と調理員11人で作っています。

二〇二〇年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、「『観る』『する』から『支える』へ」をテーマに、各国の文化を学ぶことで理解を深め、おもてなしの精神を実践する「世界とともだちプロジェクト」を進めています。

今後も世界の料理や日本各地の郷土料理を取り入れ、食文化の体験や交流が広がるよう続けていきたいと思います。心も体も味覚も大切な成長期にある学校生活の中で、子供たちの食経験が豊かになるよう本校栄養士として、努力して参ります。

ロサンゼルスの街づくりと食べ物
～コミュニティ・ガーデンのフード文化～

白百合女子大学文学部准教授　アン　マクナイト



UCLA のコミュニティー・ガーデンの学生たち

米日の文学・比較文化、都市の自然・農業とともに食文化を私は研究テーマとしております。生まれたのはイリノイ州のブルーミングトン・ノーマル（花の咲く・教育大学の町の意）という大豆やトウモロコシの農産地です。私の家はタウニー（非農家）でしたが、農業と農家に囲まれ育ちました。その後、カリフォニアで人生の半分ぐらいを過ごし、低所得者の家を持っている人たちと一緒に庭作りを体験する機会がありました。今は杉並区の永福町に住んでいます。

ロスと東京は驚くほど共通点があります。スケールが大きく、空き地が多いところです。しかも活気のあるメディア産業があり、クリエイターが多くて、フーディ文化が進んでいるところです。「フーディ」というのはグレメだけどB級グルメでもかまわないという食べ物と食べることに非常にこだわりのある人です。でもフーディ文化が進んでいるにもかかわらず、子供の貧困率は、ロスでは7人のうち1人、東京は同じく16・8％です。いわば「食材砂漠」に住んでいる人が増えてきますので、その食料格差が現れた環境で「消費する」場所から「生産する」場へ転換することが大切になりました。

ロスでは、地元の食材を活かし、食文化の変化を通して住民の健康、環境、人間関係を新しく支えました。プレースメイキング活動が盛んになっており、「プレース(place)」は場所の意味で「メイキング(making)」というのは「作る」ことです。近所改善運動は芸術家たちが関わり、フォーレン・フルーツというアーティスト団体が〝フルーツマッピング〟というプロジェクトを続けています。色んなエリアの「パブリック・フルーツ」の地図を描いています。「パブリック・フルーツ」というのはパブリックな場所、あるいはプライベートな空間でできる果物です。法律的には両者とも誰でも取ってもいいのです。



パブリック・フルーツの地図

ラーチュモントというエリアのマップには、イチジク、オレンジ、ざくろ、アボカド、桃などが描かれています。それらを使ってイベントを開催します。「パブリック・フルーツジャム」です。「ジャム」は勿論食べられるジャムですが、即興的なパフォーマンスになります。つまり楽器ではなくフルーツを持ってきて、一緒にジャズのように即興的なジャムを作るパーティです。近所の人が多いですが、会ったことのない人と喋ったり、レシピを交換したりします。

もう一つ〝フード・フォーワード〟があります。その団体は「フードレスキュー」をしています。3つのことをやっています。前提

として、食べ物の半分ぐらいは「もったいない」になっていることです。ボランティアたちと一緒に余っている果物を収穫して、フードバンクや子供食堂に届けます。また、ファーマーズ・マーケットで同じような野菜や果物を「レスキュー」します。それと最後に卸売市場で、余っている捨てられそうな果物や野菜を集めて、再配給します。合わせて7年間でおよそ一三、六〇七、七七一キロの食べ物を集めました。

最後に食育とスクールガーデン



ラテン系人の若者たちのガーデン作り団体が南ロサンゼルスの芝生をガーデンに変える

です。80年代から、アート、音楽、体育の予算が段々削られてくると同時にこどもの肥満率が上がり、集中力が不安定になっている傾向があります。ガーデンを利用することで、その傾向を逆転させ、運動や遊びを再びサポートにすることができました。野菜作りがわかると子供は親にヘルシーな食べ物を頼むことができますし、移民の多いまちには自分の母国の文化と今住んでいるまちの文化が共に成長できることとなります。ロスのガーデン作りの成功は移民の人たちの食文化（労働）を抜きに存在できません。地元のヘルシーで安価な野菜や果物を要求する家族が増えるとスーパーマーケットも対応しはじめます。

以上がロスでの独特なプレースメイキングとその食文化の具体例です。ここまで紹介した方法は、環境とそのつながりを再生するのに東京でも有効だとおもいます。

道楽としての農業

桑原　昇

若葉町の荒れ地を開墾し、畑仕事をはじめてから五年ほど経ちました。畑というには手狭だが、家庭菜園というには広すぎる、いずれにしても本業の片手間に耕作するには十分すぎるほどの土地を、毎年あきもせず耕しています。

一人暮らしでは到底食べきれない量の収穫物のために汗水流すことは、あまりに「非生産的」な行為です。毎年十二月になると、落ち葉をリヤカーに載せて運び、畑に集めます。若葉の森に住む方から落ち葉をいただくこともありました。完熟したふかふかの堆肥になるまで、数ヵ月を要します。冬場に土作りの作業を終えると、春一番の仕事はジャガイモの種芋植えです。それからナス、キュウリ、スイカ、大根など、畑は次第ににぎやかになります。ただ、それにあわせて、勢いを増していくのが雑草や害虫です。しばらく本業に夢中になっていると、作物はあっというまに雑草の海に飲み込まれます。私はときに怠けもしますが、ともあれ幾ばくかの苦労を経て収穫にこぎつくわけです。けれども収穫物は、到底一人では食べ切れません。

ですから、作物の大半は近所の家庭か、飲み屋へあげてしまいます。飲み屋では上手に料理してくれたものをいただけますし、お客さんとの会話のきっかけにもなります。なにより楽しみなのは、近所の小さな子どもたちとの芋堀りです。子どもたちは小さな手で土を懸命にかきわけ、宝物を掘り起こします。

畑仕事を通して、四季のめぐりや自然の営みの中に身を置く。そして土や身近な人と触れ合う喜びを味わう。そのことは、めまぐるしい生活の中で、地に足をつけて生きていることの実感につながります。高速化がますます進む現代、人間らしい時間感覚や身体感覚を取り戻すために、道楽としての農業も悪くないと思っています。

（若葉町一丁目）



仙川の農業について

調布市神代農協仙川支部長
（仙川生産組合長）
川口　三八

若輩の私が仙川の農業や昔を語ることは大変不適任で、不遜の誹りは免れませんが、仙川の農業の変化は町の歴史であり、将来の生活にも深いかかわりあいがあると思いますので、仙川農業の今昔と将来の展望について概略を述べたいと思います。

昔の仙川と農業

当地に於て、いつごろより耕作が始まったかはっきりしませんが、仙川の各所より石器や土器が発見され古代より人々が生活していた事が証明されています。現在の様な村落が出来たのは、徳川時代になって新しい甲州街道が開かれ、その後田畑の開拓が進み人々が定住したものと思われます。

昌翁寺の開基やこの附近の墓石の多くが寛永年間やその後建立された事をみると、村落の形成と関係がある様に思います。（因みに私の家の先祖の墓石には元禄十二己年没と記されています。）

現在、田圃は埋立てられて都営団地や分譲住宅地となっていますが、以前は仙川に沿って西から東に長く広がり、八幡神社の附近を社田（やしろだ）、そのかみの方を千羽（せんば）、社田のしもの方を柳川（やながわ）とか呼んでいました。耕作する人は仙川の他、北野の人も多く、毎年四月初め、関係者一同総出で川さらいや土手の補修を行いました。川泥と一緒にどじょうやうなぎが揚り、それをとるのが子供達の楽しみであった。昭和十三年刊行の『神代村土地宝典』（資料の部参照）を見ると、当時の宅地や田畑の土地利用の様子が詳しく分かります。

昔の甲州街道は巾五間ほどで、街道に沿って屋敷が続き、その周囲には欅木や竹林の防風林があって、そのうらには区画された畑が広がっていて、段丘のところには薪炭用の雑木林が点在していました。農家戸数は五十戸位と推定されます。

生産物の変遷

昔は主食であった米・麦・ヒエ・アワなどの穀類やいも類、自家用の野菜が主であったが、明治になって養蚕が盛んになると畑の半分位は桑畑になりました。大正になり生糸が暴落し、養蚕が下火となり、除々に野菜の生産に切替っていきました。昭和になって多種の野菜が栽培されたが、その中で夏は西瓜、トマト、秋は大根、白菜が多く作られ、牛車や手車のちは運送業の自動車で神田、京橋、赤羽などの市場へ出荷されていました。その後、新宿、松原、仙川にも市場が出来、非常に出荷が楽になりました。

昭和七、八年頃より酪農が盛んになり、飼育農家は十五戸、頭数も二～三頭から多い家では五、六頭ほど飼ったが、初めは決まった販売先もなく苦労が多かった様です。毎朝交替でリヤカーに積んで都心まで持って行った事もあるそうです。のちに現在の仙川ヘルスクラブのところに立派な設備をもった集乳事務所ができました。

養鶏農家も二～三百羽単位であったが、七、八戸あったそうです。養豚も、笹本さん方で卸しをされていた関係で多かった様です。盛んであった畜産も戦争のため飼料の入手が不可能となり（当時は横浜まで買いに出かけていた）、次第に消滅していきました。

戦時中と戦後は食料が統制になり、各農家に米・麦・いも類の生産が割当てられ、強制的に供出をさせられて、完納するのに大変苦労があった様です。

戦後の歩みとこれから

昭和二十三年に自作農創設を目的とした農地改革が実施され、農地の所有、利用について大きな変革が行われ、仙川部落内にも色々な波紋が生じました。

昭和二十七年には米を除いて統制が解除になり、生産物も麦やいも類の主食用作物から換金性の高い野菜や植木、果樹などに替り、酪農や養鶏なども戦前をしのぐほどになりました。

しかし、昭和二十九年に大島分譲地、昭和三十八年には仙川団地や大和田団地などの大きな住宅地ができ、人口の増加に伴い他の仕事に転業する農家や、アパートなど農業以外に収入を求める農家も増加し、農業生産は下降をたどる様になりました。現在、農地は約二十三町歩となり、盛んであった畜産も養鶏三戸、酪農は一戸になってしまいました。

清冽な流れにホタルや小魚が住み、子供達の絶好の遊び場であった川も、レンゲ咲く田圃も、青いジュウタンの麦畑も、野うさぎのいた雑木林も既に消去り、わずかに点在する畑や空地も今後さらに急激に消え去る運命にあります。駅周辺で皆から親しまれている農家提供の〃仲良し広場〃も、宅地並課税の加重の中で、各個人の意志ではいかんや相続税ともしがたい命運であります。そのあとに何が生じ、その上にどんな文化が咲くのだろうか。これから先十年の仙川の変わりようは大きなものであろう。

この仙川の地に、永久に残る畑と林と空地が、欲しい。そのための工夫と努力が欲しいと思います。

■資料篇

「せんがわ」の農業の歩み

●江戸時代初期（十七世紀前半）の石高

（合計）（田方）（畑方）

下仙川村　一七〇石、九一石、七九石
入間村　二四九石、一三二石、一一八石
合計　四一九石、二二三石、一九七石

〈資料〉「武蔵田園簿」――十七世紀前半の生産状況を伝える徳川幕府編纂の村別石高表。掲載の値は石未満を四捨五入したもの。

●江戸時代後期（十九世紀前半）の農地の状況

下仙川村　「水田少く陸田多し、土性野土……」
入間村　「土性黒野土民戸八十三烟、陸田は居宅につきて開き水田は村の中央にあり……」

〈資料〉「新編武蔵風土記稿」――文政十一年（一八二八）徳川幕府が編纂した地誌で、各村の歴史・地理・産業等を紹介したもの。

●江戸時代後期（十九世紀前半・天保年間）農家戸数

下仙川村　四四戸
入間村　八〇戸
合計　一二四戸

〈資料〉「武蔵野歴史地理」――昭和三年に高橋源一郎が編集。武蔵野の各村落につき資料収集、実地踏査を行ないまとめたもの。ここに掲載した数値の出典は不詳。天保五年（一八三四）の全国人口調査によるものか？

●江戸時代末期（十九世紀中頃）の石高

下仙川村　四八四石
入間村　三三八石
合計　八二二石

〈資料〉「旧高旧領取調帳」――明治初期（九～十四年）に内務省が旧幕藩の石高を調べたもの。掲載の値は石未満を四捨五入。「武蔵田園簿」の値との比較から江戸時代の二百数十年間の生産高の伸び（約倍になっている）が分る。

●明治初期（十九世紀末期）の農地・農家の分布状況

（略）

〈資料〉「地方迅速測図（布田駅）」
明治十～二十年に陸軍参謀本部が発行した一連の二万分の一地図。当地図は明治十三年の測量。当時の農地・農家分布がよく分る。　資料所在―㈱大日本測量

●明治末～大正時代（一九一〇年代）の蔬菜栽培開始の状況

「例えば（中略）神代村に於て、蔬菜の栽培を主とする地区は、東京市に近き東部の下仙川・入間に過ぎずして、栽培年代は今より十数年前のことなり。即ち、今日に於ては、入間の如き九十四戸中其半数は東京向の蔬菜の栽培に従事するも、今より五年前迄は二十戸内外に過ぎざりしなり。」

〈資料〉「帝都と近郊」小田内通敏著
大正七年（一九一八）刊。明治末から大正初期にかけての東京西郊＝武蔵野台地の市街化進行状況や農村の変化の姿を実地踏査により描写・記録している。

●昭和十三年（一九三八）の農地分布

（七頁地図参照）

〈資料〉「神代村土地宝典」帝国市町村地図刊行会発行。当時の神代村の各字別に筆割・地籍を詳細に記録。主な施設についても記入され、この頃の地域の様子がよく分る。（資料提供　川口三八氏）

●昭和五十年（一九七五）の世帯・人口

（世帯）　（人口）

入間町　一、八六三世帯　七、〇五一人
仙川町　一、七三八世帯　四、九五一人
緑ケ丘　二、六三一世帯　八、五七四人
若葉町　一、七〇一世帯　五、一九三人
合計　七、九三三世帯　二五、七六九人

〈資料〉「昭和五十年国勢調査東京都区部区市町村町丁別報告」より集計

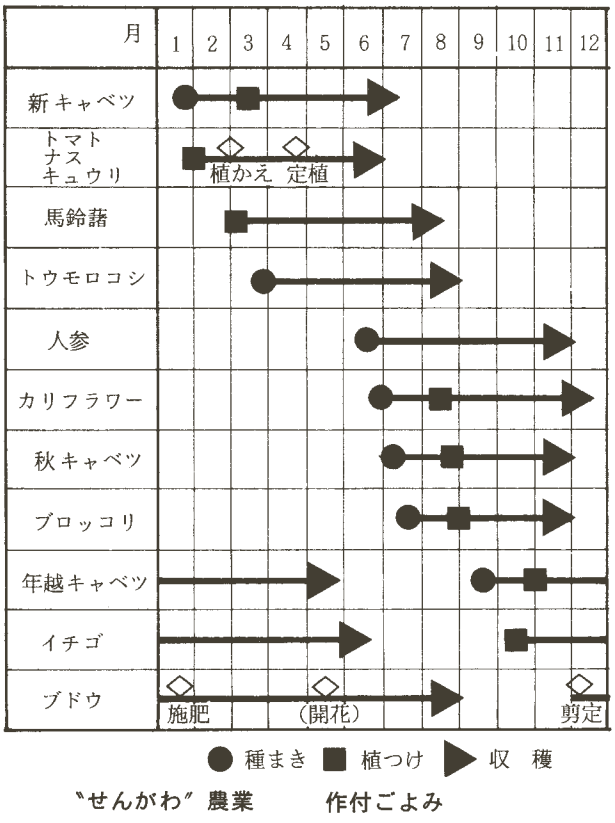
●昭和五十三年（一九七八）の農家戸数

（戸数）　（農業専従者）

仙川支部　三二戸　三七人
入間上支部　二九戸　二六人
※入間下支部　四戸　六人
合計　六五戸　六九人

〈資料〉「昭和五十三年度調布市農業経営調査」より。（※「せんがわ」地区のみ）

（山岡義典）



〝せんがわ〟農業　　作付ごよみ

出所▷本誌 No.3　'79.1-2

調布市／せんがわの生産緑地

調布市都市整備部都市計画課

〈生産緑地地区とは〉

都市計画法及び生産緑地法に基づく地域地区の一種であり、市街化区域内の農地等のうち、公害や災害の防止など良好な生活環境の確保に効果があり、公園・緑地など公共施設等の敷地に適している一定規模の土地を生産緑地地区に指定することにより、農業との調整を図りつつ良好な都市環境の形成に資することを目的としている。

生産緑地法が平成3年に改正されたことに伴い、市内の多くの生産緑地地区は4年に指定された。

〈指定するための要件とは〉

生産緑地地区は、次の基準を満たす一団の農地等について、土地所有者の意向をもとに、調布市による都市計画の手続きを経て指定される。

①現に農業の用に供されている農地等

②公害又は災害の防止、農業と調和した都市環境の保全等良好な生活環境の確保に相当の効力があり、かつ、公共施設等の敷地の用に供する土地として適している

③五〇〇平方メートル以上の規模の区域

④用排水その他の状況を勘案して農業の継続が可能な条件を備えていると認められる

〈生産緑地に指定されると……〉

農地として適正に管理、保全することが義務付けられるため、次の行為が原則的にできなくなる。

①建築物その他の工作物の新築、改築又は増築

②宅地の造成、土石の採取その他の土地の形質の変更

③水面の埋立て又は干拓

しかし、以下のメリットがある。

①営農活動を継続して行うために、市長に対して、生産緑地を農地として管理するために必要な助言、土地の交換のあっせん等の援助を求めることができる

②固定資産税及び都市計画税が一般農地としての評価及び課税となる

〈買取り申出について〉

生産緑地地区に指定された農地について、次のいずれかに該当する事情等により、営農の継続が困難又は不可能となった場合は、市長に対して当該のうちの買取りを申し出ることができる。

①生産緑地地区に指定されてから30年を経過したとき

②農業の主たる従事者の脂肪や、身体的・精神的障がい等により、農業に従事することが不可能になったとき

〈調布市の生産緑地地区について〉

調布市が生産緑地に関する変更の告示を行った平成28年12月1日時点において、調布市内には四三二地区の生産緑地地区があり、面積は約一二二・七〇haとなっている。

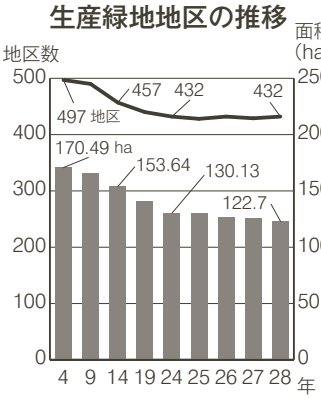
なかでも、緑ケ丘、仙川町、若葉町、入間町、東つつじケ丘には62地区の生産緑地地区がある。その合計面積は一五・三四haとなっており、市全体の面積のうち約12・50％を占めている。この5地区に限らず、時代の経過とともに市内の生産緑地地区は減少しているのが現状である。

また、平成34年には、多くの生産緑地地区が指定から30年が経過することになり、主たる従事者に「上記の②」のような一定の事由が生じなくても生産緑地の買取り申出ができるようになる。

このような状況において、平成27年4月に都市農業振興基本法が制定され、28年5月には都市農業振興基本計画が策定された。生産緑地地区を含む都市農地を「都市にあるべきもの」として位置づけられたことにより、今後、新時代に向けた本格的な農業振興施策が講じられることとなる。

（2016年12月）

生産緑地地区の推移



Boutique
伊藤町
INAGAWA
Tel.3309-5454
貸スペースあり
サンミモレ イナガワ 仙川サロン
Tel / Fax 3305-7870



紳士用品専門店
men's ツカモト
滝坂小・若葉小・緑ヶ丘小スクール用品取扱店
仙川商店街中程 ☎3300-6707

ASA 仙川
✉ asa@asa-isao.com



調布市若葉町3-27-8 TEL 03-3326-4693

仙川耳鼻咽喉科
レーザー治療研究所併設
(社)日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医
平 日/AM10：00～12：30
PM 2：30～ 7：00
土 曜/AM10：00～ 1：00
休診日/日曜・祝日・木曜午後
※木曜午前(喉の健康指南)要予約
相朋学園正面通り ☎03-5313-3281

健保 労災 自賠責保険
若葉町 栗山接骨院
(物理療法 手技療法 整体療法)
── 治療科目 ──
骨折(後療)・脱臼・捻挫・打撲・挫傷
スポーツ障害・交通事故障害・リハビリテーション
首・肩・腰・膝痛 その他各関節の痛み
手足のしびれ 肩こりは健保適用外
── 必ず良くなります お気軽にご来院下さい ──
調布市若葉長 2-19-2 TEL(3326)0346

書店で好評発売中!
地図の感想やお便り お待ちしてます!
仙川地図研究所
sengawamap@gmail.com



見る知る歩く せんがわ地図 200円



見る知る歩く ちとから地図 200円



口腔外科 顎関節症 小児歯科 インプラント 訪問歯科
☎03(3308)8018 ハワイイハ
若葉歯科医院
月・火・水・金 9:00～12:30 14:00～21:00
木 9:00～12:30 土 9:00～18:00 日・祭休診
仙川町1-33-35 (若葉町2丁目交差点)

森のテラス
Open Garden
森のテラスは山田茂雄造園事務所が運営するオープンガーデンです。
Open 10:00～16:00 月曜定休
東京都調布市若葉町 1-32-13 Tel 03-3307-1987
Mail info@moritera.com HP www.moritera.com

身近な"ホーム"ドクター
住宅のことならなんでもご相談下さい
渡辺建設株式会社
東京都 調布市 入間町 1-37-7
TEL:03-3308-6161(代) FAX:03-3309-7765
E-mail:watanabekensetu@dance.ocn.ne.jp
http://www.w-kensetsu.com

せんがわの農産物直売所ほか一覧

名前	住所 電話番号	営業期間 営業時間	休業日	主な品目	ひとこと
直売所					
永野恵子	入間町 1-15-3 03-3326-2632	4 ～ 12 月 9：00～18：00	不定休	芋類（さつま芋、じゃがいも、里芋）、夏野菜（トマト、きゅうりなど）、秋野菜（キャベツ、ブロッコリーなど）	旬の野菜を販売しています。
栗山清治	入間町 3-5-6 03-3482-3511	通年 9：30～12：00 13：00～17：00	日曜日	時季物はほとんど全部、もやしのみありません。夏みかん	
清水忠一	入間町 3-18-4 03-3482-7734	5 ～ 1 月 10：00～17：00	雨天時	トマト、きゅうり、ピーマン、茄子、スイカ、南瓜、じゃがいも、ほうれん草、小松菜、大根、キャベツ、ブロッコリー、温州みかん、レタス、かぶ、伏見とうがらし、里芋、人参	減農薬に努め、低価格で販売しています
新井キウイ農園	若葉町 2-8-3	11 ～ 3 月 10：00～16：00	不定休	ヘイワード（11 月末～ 3 月末）、ゴールドイエロー（11 月初～ 12 月末）	もぎ取りは行っていません。キウイは、ビタミンC、食物繊維の宝庫です。是非お召し上がりください。
小島靖行	若葉町 3-20-7 03-3300-5718	通年 予約のみ		生け花材料、竹の子、梅	
山内美香	若葉町 3-29-3 03-3300-5741	通年 9：00～17：00	野菜が収穫できないとき	トマト、きゅうり、茄子、ピーマン、じゃがいも、とうもろこし、里芋、ぶどう、柿、かぶ、大根、白菜	スーパーでは決して味わえない採れたての地元野菜を販売しています。新鮮な野菜ならではの香りや食感を、是非体験してください。
伊藤義男	仙川町 3-3-55 03-3300-3407			本誌 6 ページ参照	
新井七吾	入間町 1-5-4 03-3309-3983			本誌 7 ページ参照	
観光農園					
永野恵子	入間町 1-15-3 03-3326-2632	6 月、10 月 9：00～18：00	不定休	6 月：ジャガイモ掘り 10 月：さつまいも掘り	幼稚園、子供会向けに行っています。
山内ぶどう園（山内美香）	若葉町 3-29 03-3300-5741	8月20日～9月初 9：00～18：00		ぶどう（高尾、紅伊豆、巨峰、多摩ゆたか）もぎ取り	駐車場有　10 台 全国発送可
市内農産物販売店					
クィーンズ伊勢丹仙川店	仙川町 1-48-5 03-5315-5565	通年	営業時間　10：00 ～ 22：00	不定休	
いなげや調布仙川店	仙川町 3-4-1 03-5315-5565	通年	営業時間　9：00 ～ 22：00	無休	

農業体験			
市民農園		**農業体験ファーム**	
入間町	入間町 1-3-16	入間ふれあい農園	入間町 1-25-7

出所▷「調布市農産物直売所マップ」に本誌改訂

まちなか農地と直売所をめぐる
せんがわ地図

by
仙川地図研究所
(小森葵・横山圭)

このまちの自慢。
採れたての野菜や果物が
近所で買えるということ。

季節に合わせて
生産物が変わります。
大地の恵みをおいしく
いただきましょう。

生産緑地地区
農産物直売所



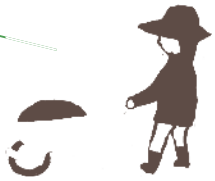


100円玉を
持っていこう

夏は山内農園で
ぶどう狩り



土があると
ほっとするね





地産地消！



仙川野菜
をめしあがれ









昨年7月に、18歳・19歳の若者たちの初選挙が参院選と都知事選で実施されました。本誌21号『検証と深化』特集（二〇一六年九月刊）を呼んだ方々からメッセージをお寄せいただきました。若者も大人も、〝立憲・民主社会〟の実現に向け、共に精励しましょう。

18歳目線で思うこと

桐朋女子高等学校3年　須鎌千晶

この夏の参議院選挙に、18歳で初めて一票を投じました。有権者として迎える最初の国政選挙。権利を与えられたことへの喜びよりも、何をしたら良いのかという不安の思いが大きくありましたが、18歳である私の目線で考え、自分にとって良い候補者を選び投票することにしました。

18歳目線で候補者を選ぶべく、身近な「奨学金制度」や「教育」についての政策に注目し、候補者に関する情報を集め始めました。その手段として私が重視したのは、テレビとインターネットです。テレビでは、選挙区の候補者全員の政見放送を見ました。限られた時間の中で何を優先的に伝えようとするのか、どれくらい念入りに準備をしてきたのかなど、文面からは読み取ることのできない候補者ごとの違いを知ることに役立ちました。また、インターネットでは候補者のホームページやSNSを閲覧し、より詳しい政策を知ることに利用しました。

しかし「せんがわ21」夏の号に掲載されていたアンケートの結果では、情報収集の手段としてどの世代でもテレビの割合が高かったのに対して、ネットの割合にはばらつきがありました。最もネットを活用していた30代以上でも約6割、18・19歳は2割ほどにとどまっていたのです。以前学校の課題でレポートを書いた際、20代から60代まで、どの世代も6割以上がインターネットを利用していることを知っていました。それなのになぜ、選挙のための情報収集にはあまり使われないのでしょうか。ネットは、興味関心に応じて能動的に情報を集めることができるメディアです。そのため、この数字の開きは、選挙は関心の対象にはなっていないということを表していると考えられます。ある国の大統領は大統領選の際にネット選挙担当の専門組織を作り、私生活の様子を積極的に配信することで庶民的で親しみやすい一面を有権者に示しました。また支持者らがSNS上で投票を訴える動きも広がり、投票率が伸びたといわれています。今回の選挙では、SNSを活用していない候補者も多く見受けられました。日本でも、若者の心を動かすような取り組みが必要だと思います。それと同時に、私たち有権者も自分に合った方法で自発的に情報を集める努力をすることが大切だと思いました。

高校現場の主権者教育の一事例として

桐朋女子高等学校社会科教諭　飯島　望

7月の参議院選挙で初の投票権を行使した18歳の投票率は51％強。決して高くはなかった全体の投票率55％弱を更に少し下回ったものの、40歳未満の年齢層との比較ではいずれも上回っており、高校の教育現場での「主権者教育」の影響は大きかったとされている。特に熱心に展開された東京都、神奈川県、群馬県、富山県、京都府は18歳の投票率は60％を超えたという。学校が果たしうる教育の効果が明確にあらわれたことを嬉しく思う。今回の歴史的選挙は今後、様々な分析や研究の対象になることだろう。その際、「せんがわ21」の調査や検証の結果も基礎史料としての価値をもつものと期待したい。ここでは仙川の女子高である桐朋女子高等学校で行われた「主権者教育」の実際を、今後の検証のために記録にとどめておこう。

公職選挙法の改正に伴い、全国の自治体が地域の高校を中心に模擬選挙を行うことを呼びかけたことは記憶に新しい。桐朋女子高等学校では第三学年から第一学年までのすべての学年において、調布市選挙管理委員会と東京都選挙管理委員会の協力を頂き、「総合の時間」を使って模擬選挙を実施した。最初に行ったのは11月4日。対象は終講を間近に控えた高校3年生。卒業後すぐ全員が有権者になるという前提で学年が実施したのだが、意外にも調布市内の学校としては初めての試みであった。〈実際の模擬選挙を体験してもらうとともに、選挙の心構えや基本知識を確認する機会としよう。そして来年7月の初の未成年年齢層投票率の高さを、ぜひ今後の歴史にとどめよう〉と当該学年の生徒通信には書かれている。模擬選挙の模様は毎日新聞（武蔵野版11月12日）にも紹介された。調布市のHPにも「市で初めての試み」と取り上げていただいた。調布市選挙管理委員会の方々が自ら模擬選挙の立候補者となって架空の選挙演説（架空のショッピングモール誘致が争点）を行い、生徒たちが鋭い質問を投げかけて丁々発止のやりとりをするなど、会場はたいへん盛り上がった。当日、進行に関わって下さった都選管の方からは「沢山の質問や拍手が本当に嬉しかった」と直々にお手紙を頂いた。選管と協力して実施した事後の生徒たちのアンケートからもポジティヴな感想ばかりで（「やって良かった、やや良かった」が98％、あとは「普通」）、「今どきの高校生」らしからぬ反応には私たちも驚かされた。

以上は仙川の学校現場で行われた取り組みの一例であるが、日本中の学校現場でも同様な取り組みが行われたことであろう。冒頭の数字、51％強という投票率をどのように評価するかであるが、私たちが「主権者教育」を実施してみて一つ感じたことがある。それは今、学校現場で進行している教育改革（高大接続改革）が目指す「学校から社会への円滑なトランジション」という方向性と「主権者教育」は重なり合うところが大きい、ということである。学校から社会へ開かれた教育を真剣に考えるとき、いわゆる「キャリア教育」や「思考力・判断力・表現力&主体性・多様性・協働性」を育てる「アクティヴ・ラーニング」の実践の場として、「主権者教育」は高い親和性を持つものと考える。初の18歳選挙権行使の機会となった今回の選挙にとどまらず、今後の「主権者教育」の可能性を感じた次第である。

主権者教育と大学

白百合女子大学非常勤講師　大久保　成

白百合女子大学で一年生の必修講義を担当しています。専門はマルチメディア論と教育工学です。また学究のスタートが政治学だったため、IT技術と社会の関係にも興味を持っています。選挙権拡大に伴い、「社会は自分達の手で形成していくもの」という意識を

持ってもらうため、受講生に選挙に行くよう積極的に呼びかけを行いました。アンケート結果から呼びかけに一定の効果があったように思えます。

例外はあれど、大学入学以前の公民教育は「よき居住者」となる教育が主で、「よき主権者」になる教育は難しいと考えています。しばしば誤解をされますが、近代以降の民主主義は一定の方向性を持った政治体制です。方向性とは、現代的な言い方をすれば「開かれた社会」であり、一人ひとりが尊重され、自らのことを自ら決定する中で幸福を追求できるような社会を構築することです。民主主義はそこに至るための方法論が選択できるだけであり、逆戻りするような議論は原理的に許されません。ところが日本では、「民主主義が実現すべき方向性」を「政治的偏向」であるかのように捉え、学校教育では「中立性を保つべき」という乱暴な議論がまかり通っています。

よき主権者になるためには、そのための教育が必要です。問題に対し従順になることなく、より良い解決策を提案していく訓練です。これは大学教育の本来の姿とも一致しています。

最後にアンケートの設問に対し苦言を一つだけ。全体的に誘導的な設問が多いように思えます。例えば「あなたは『社会志向』か『個人志向』か」の設問は両者が二項対立であることを前提にしており疑問が残ります。バブル世代の私の学生時代とは違い、今の若者はしっかり物事を考え、とても優しい思考を持っています。若者の素直な捉え方が引き出せるような設問を望みます。

18歳選挙権の第1回実施～検証と深化をめぐって～

都立神代高等学校　公民科／政経担当　教諭　柏田悠子

今年7月、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから初の参議院議員選挙がありました。神代高校では今年3月に現在の3年生対象に各クラスで選挙に関する授業を実施し、選挙の実態をより理解し、生徒の興味関心を高めるよう指導しました。3年生に進級してからは、授業に必修科目として政治経済がありますので、その中で選挙に関するニュースや新聞記事を取り上げる機会を多くしました。

アンケートの結果の中で注目したものがあります。「選挙権について、身近な人と話題となったり、話し合ったりしましたか」の結果、「親79％」「友人69％」に対し、「先生10％」で先生との対話が少ないのが残念であるとのコメントが寄せられていました。教員としては、残念ではありますが妥当な結果だと思いました。主権者教育においてはさまざまな制約があります。学校における政治的中立性の確保のため、選挙期間中に実際の選挙に直接関係するような事柄についての発言や資料等は控える場面も増えてしまいましたし、資料をそろえるにしても、例えば新聞なら比較できるように何社も取り上げ内容を精査しなければなりません。年間の授業予定も余裕がないことから、実際の選挙前に丁寧な指導の時間が取れない現状もあります。

選挙後、学校でもいくつかのクラスで選挙に関するアンケートを実施してみました。18歳選挙権になってどう思ったか、と言う問いに多く寄せられた意見が「18歳選挙権になって以前より政治に関心を持つようになった」「自分達の将来のための政策を実施してくれる政党を選びたい」「若い人の意見を取り入れてくれるのは良いと思う」など前向きな意見がありました。一方で、「どうせ投票率は低いのだから、18歳に選挙権を与えて何をしたいのかよくわからない」「政治のことはよく知らないのに選挙に行っても意味がない」など否定的な意見もありました。選挙や政治について学校で教えてほしいことはあるか、という問いで、「立候補者や政党についてもっと詳しく教えてほしい」「政策に対してどんな意見があるのか知りたかった」「先生の意見も聞きたかった」という、高校生の素直な気持ちが書かれていました。

選挙に対する生徒の疑問はもっともなものなので、これからどのように対応するのか、どこまで対

応できるか、公民の教員としても考えていかなければいけませんし、学校としても様々な取り組みが必要だと思います。生徒が日本の政治や社会情勢に対する興味関心をもっと持って、社会に出て行ってほしいと思っています。

〝選挙権〟がどんなに大切なものなのか

東間紀子

せんがわ21・二〇一六夏号の表紙がいいですね。若者の自然な姿に眩しさを感じます。でも、じっとみていると、憂いを含んだ表情に見えてきます。

18歳初選挙のアンケート結果から何が見えてくるのでしょうか。私にはしかとつかめません。

戦後処理をあやふやにしたまま70年を経過して、隣国との間に深刻な矛盾が噴出している一方で、新しい戦前へと突入しているような日本の今を、一票で判断してくださいと彼らに提示するのは、いかにも大人の無責任という気がします。

昨年7月参院選の投票率は、18歳51％、19歳42％、20歳台35・6％でした（総務省）。特集記事の中に「50％以下は再選挙すべき」という回答が18・19歳で「女性37％、男性56％」とありましたね。

期待に反してというか、当然ながらというか、この参院選では新しい風は吹きませんでした。

その理由は、政治に無関心ということなのか、政治に期待しないということなのか、自分の意見を代表してくれる政党が見当たらないということなのか、今の時代をどう捉えていいかわからないということなのか、おそらくその全てなのでしょう。

若者に〝風〟を期待した大人達はといえば、全体平均の投票率が54・7％ですから、偉そうなことは言えません。

今私達が手にしている選挙権がどんなに大切なものか、少し歴史を振り返ってみたり、世界を見廻してみたりして、基本的人権が憲法で保障されている国の国民であることの自覚を取り返す必要があるようです。

ある憲法学者は「立憲主義の社会に生きる経験は僥倖である」と言っています。

それが主権者教育の基本ではないでしょうか。

自由とか平等とか人権とか、人類が目ざしてきたものが手垢にまみれ、理想とは反対の、本音むき出しの、差別と排除の声がだんだん高まってきました。

歴史の積み重ねを否定し、逆戻りを目ざす声も又選挙によって浮上してくるのですから、一票を持つ私達の責任はとてもとても大きいのです。

歴史に対して、人類の進歩に対して、身震いする程の重い一票であることを思い出したいと思います。

若者が若者らしく挑戦的に瞳を輝かせて未来を創っていってほしいと、切に願っています。

（布田6丁目／75歳）

欧米と日本の若者たち世代の今

桐朋学園芸術短期大学　教務部長　安宅りさ子

「十八歳選挙権の第一回実施～検証と深化～」を拝読し、学生に感想を聞いてみた。

アンケート調査結果によれば、十八歳選挙権について肯定的に受け止めている割合は、二十歳以上の「大人」の方が、肝心の十八・十九歳より高くなっている。このことについて尋ねてみたところ、実にクールな反応が返ってきた。

そもそも今回の公職選挙法の改正は、若者たちの要望で実現したというわけではない。十八・十九歳の投票率が低かったというが、二十代・三十代と比べて低いといえるのか？

とはいえ「シールズ」など同世代の若者たちが積極的に政治に係る姿を見て、学生たちの政治に対する関心も高まったようだ。主権

者としての意識も芽生え、政治家たちの言動も厳しくチェックしている。アメリカ大統領選でミレニアム世代が「サンダース現象」を起こしたように、日本でもいずれ若者たちがエスタブリッシュメントにNOを突きつける日がやって来るかもしれない。

昨年はイギリスのEU離脱をめぐる国民投票やアメリカの大統領選で、大方の予想を裏切る結果が出た。選挙の持つ力を目に立ちすくむ大人たちの姿を見て、若者は何を思っただろうか？

現在学生たちは個々にさまざまな問題に直面している。高額な学費、有利子貸与の奨学金、ブラックバイト、親の失業、家族の介護、震災、将来への不安等々……。そして彼らの世代は、この先、地球温暖化や原発の廃炉処理、少子高齢化社会等、重い課題を引き継ぐことになる。

近年、我が国では政治的発言がしづらい空気が高まりつつあるが、若い世代が臆することなく闊達に議論を重ね、自らの信念に基づいて選挙権を行使してくれることを心から願わずにはいられない。

「18歳初選挙」特集を読んで
～大人に突きつけられた課題とは～

郷土史家　古橋研一

昨年七月の参議院選挙は、日本で初となる十八歳からの投票となり、多くのマスコミで話題になった。『せんがわ21』の第21号でも編集部の「18歳選挙権の第1回実施～検証と深化」と題して、仙川地域の大学・短大・高校・学生寮と大人たちへのアンケート調査が行なわれ、論評もされた。狭い地域レベルでの価値ある調査であったと思う。問題は、ここから何を組み取り、学ぶかにある。

18歳・19歳の若者の回答で、選挙権を得たことに賛成が女性59％男性56％止まりの意味は大きい。世界では、今や18歳の選挙権が大勢を占めているが、それらの国では事前に教育の中に選挙権の意義が位置づけられ、実際の選挙運動まで参加している若者も多い。選挙制度改革への意見として「立ち合い演説会の開催」を女性15％男性13％が求めている。現状では戸別訪問の禁止、ビラ配布の制限、新聞・TV報道も中立の立ち位置でしか論じないのである。それに支持率の中間状況を出して投票を誘導する危険性すらある。これらは、若者から選挙（政治）を遠ざける方向でしかない。

「50％未満の再選挙に」女性56％支持しているのは新しい視点といえる。空想の憲法を私が仲間と作った時に「落選させたい候補者にマイナ一票」の案が出たが、これと通じる意見と思える。このアンケート調査での希望と光は「18歳選挙権について、身近な人と話題になったり、話し合ったりしましたか」の問いに、あると答えたのが18・19・20歳は、何れも80％以上の高さにあった。まさに「主権者教育」が求められているのではないだろうか。明治時代の自由民権運動も、主権を求める根底には選挙があった。私たちのご先祖さんが頑張ったからこその選挙権である。戦後もその一票によって戦争をしない国でいられたわけである。

選挙権の意義を身に付かせるには、社会に対する目を養うことが必要であろう。学校教育だけでなく、ボランティアなど社会との関わりの中から学ぶことも大切であろう。現社会を、自分が求める社会にするために、一票をどのように生かすかが問われてこそ、笛や太鼓なしでも若者は自ら投票に行くことだろう。選挙は決してゲームではない

私事ではあるが、現在の調査課題が「大島憲法」なのである。敗戦後の一九四六年（昭和21）一月二九日に、占領軍命令で伊豆大島が、日本から分離された。分離で軍政下に置かれることに抗して、全島民によって、大島の独立を計画し「大島憲法草案」まで創り出したのである。最終的には、53日間で分離は撤回された。その憲法の一条は「島ノ統帥権ハ村民ニアリ」とあり、村民の主権が明記され、選挙権は18歳以上の男女と定めている。現憲法が生れる前の話しである。これも日本の選挙権の忘れてはいけない歴史なのである。

（国領町三丁目）

いま憲法について考えること
～憲法が危ない！　世界が危ない！～

東京大学名誉教授　堀尾輝久

安倍首相は「戦後レジームからの脱却」を掲げ、憲法の枠内でと言いつつ集団的自衛権を容認し、安保法制を強行採決し、その法の実行として南スーダンへの駆けつけ警護のための派兵を強行しております。憲法との矛盾がますます大きくなる中で、憲法審査会を開いて、条文改正へと動き出そうとしています。そんな動きに対して、ママさんの会やシールズの若者たち、そして学者の会も批判の声を挙げ、学習を深めてきました。調布でも毎週のように、原発反対と重ねて、「戦争はいやだ調布市民の会」の集会が開かれています。

今年は憲法施行70年。この間日本では、軍隊によって、殺し殺された者は1人もいないということは、希有の9条があったからこその歴史です。改憲論への丁寧な批判に重ねて、憲法の意義を、歴史の中で、地球時代としての現代の視点から、そして私たちの生活の中で捉えることが大事です。戦争は嫌だと叫ぶだけではなく、守るべき平和の暮らしをつくりだすことです。子育て・教育にとって平和な環境・文化は不可欠です。子どもの発達と学習の権利は人権の基底となるものです。

自民党の改憲案は単なる改憲ではなく憲法の原理を根本から変えようとしています、前文の出だしは「日本国民は」ではなく「日本国は」に始まり、この「憲法を制定する」とあり、単なる改憲ではないのです。憲法は人権保障のために国権を制約するものではなく、逆に「公益や公の秩序」による人権を制約するものになっています。さらに97条の最高法規の規定は全面削除されています。この条文を書き留めておきましょう。「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪え、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」。これが全面削除されているのです。自由や人権の理解が全く異なっているからです。

改憲論のもう一つの主張は9条改正です。「第二章　戦争の放棄」の章名は「第二章　安全保障」に変わり、9条には国防軍が規定されます。これは新設の「第九章緊急事態」と連動しています。これは先に強行採決で成立させた機密保護法とも連動するものです。

9条については占領軍が日本を丸裸にするために押し付けたもので恥ずかしい規定だとする、根強い主張があります。安倍首相もそういう認識を公言しています。首相はさらに憲法は一国平和主義であり、自分の考えは積極的平和主義だと主張しています。国際的脅威に対する抑止力として「平和のために戦争に備える」という中身であることも明白です。さらにトランプ大統領発言を背景に、脅威が明白な場合は先制攻撃が必要だという議論も国会で自民党議員から公然と主張されるまでになってきています。

しかし非戦・非武装の憲法にはこう書かれています。「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。……日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う」。国際緊張には軍備による抑止力ではなく、信頼と対話による平和外交、それを支える市民間の交流以外に道はないのです。

今度私が見付けた高柳賢三（憲法調査会会長）とマッカーサーの往復書簡（一九五八年12月）で、マッカーサーは「あれ（9条）は幣原首相の先見の明とステイツマンシップと叡知の、不朽の記念塔（モニュメント）だ」と明言しています（『世界』二〇一六年5月号参照）。あの大戦争と廃虚のなかで生まれた『戦争は嫌だ、武器は必要ない』という日本の、世界の民衆の思いの結晶が非戦・非武装を掲げる9条なのだと捉える事ができるのです。

9条をモニュメントに終わらせることなく、戦争で犠牲を与えたアジアの人々への国際公約として心に刻み、憲法前文と結び付けて

地球時代にふさわしい思想として世界に発信し、外交政策の軸に据えて国際的にアピールすること。足下の生活の中に平和の文化を根付かせ、民間交流を活発にし、世界の平和に貢献するための具体的な方策と手だてを作りだしていかねばならないと願っています。9条をもつ地球憲章を！　非戦・非武装の精神を世界に！　これは憲法9条を守るためにも不可欠な運動課題だと思っています。

昨年は憲法と教育について話す機会も多く、改めて子育て・教育への不安と改憲への危機意識が重なっていることと、生活感覚を通しての護憲運動の広がりを実感したのですが、平和への願いを音楽に込めて表現する活動も盛んです。私も東京フロイデ合唱団でベートーベンの「第九」を9条の思いを重ねて、毎年歌っています。先日、荒川区九条の会連絡会5周年記念のつどいに参加した時、会場に配られ皆で合唱した歌を紹介しておきましょう。ベートーベン「第九」でくり返し歌われる、誰もが知っている旋律にのせて歌う『羽ばたけ憲法九条』（作詞　合唱団この灯）です。

1　憲法九条　平和の砦　いのちと暮らしを守る要よ
世界に誇れるこの憲法を
みんなの力で守っていこう

2　憲法九条　平和の砦　争い無くして話し合おうよ
子どもの未来が輝くように
世界に羽ばたけ　憲法九条

（くり返し）

皆さんも口ずさんでみてはいかがですか。

（若葉町1丁目）



日本国憲法　前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

中華料理
代一元
御宴会・御商談にご利用下さい
☎ 3300－6712　仙川商店街西友前

串焼処
きくや仙川
仙川町 1-19-1　☎03－3309－5622

SINCE1982
西洋料理の店
ぽんぷきん
TEL＆FAX03-3326-2944

前田整骨院
各種保険取扱い　自賠責保険
午前　9：00～12：00　仙川町 1－19－23
午後 15：00～20：00　休診日：日曜・祝日

マイスドウ
☎03-3308-0001

広味坊 飯点飯店
せんがわ劇場むかい
☎ 03-6909-0014　仙川町 1-25-4 シティハウス仙川 1F

Anchor Here
AND COIL UP YOUR ROPES
SINCE 1977
TEL 03-3307-2611
ICHIKAWA BLDG. 1F 1-12 SENGAWA-CHO CHOFU-SHI TOKYO

なつかしい東京ラーメンの味わい
支那そば
めでた屋
仙川アベニュー　☎3307－0709

そば処
平野屋
桐朋学園前　☎3308-0115

LARGO
SENGAWA
仙川アヴェニュー北プラザ 106　03-5969-9996

cafe
Anmar
11:30～17:00
定休日：日、月、祝日
070-5553-5366
桐朋学園大学正門前すぐ

患者様の症状だけではなく、原因を深く追求する整骨院
けいじゅ整骨院
調布市若葉町2-10-5　Web: http://www.k-ju.com
電話:03-3300-8773　Mail: k-ju@mail.goo.ne.jp

創業26年
居酒屋
菜遊記
神代書店北東　03-3305-9559

あなたの街の電気店
ヤナバ電機商会
若葉町 2－24－19　☎3307－3182

和酒厨房
ばさら
調布市仙川町1-15-4水清ビル102
TEL 03-5969-8866
営業時間
火～土 17時～25時(L.O.24時30分)
日・祝 17時～24時(L.O.23時30分)

『(とりあえず)にしさん』
広島風お好み焼
まや徳
MAYATOKU
11：30～23：30　月曜定休　☎ 3326－3455

自家焙煎コーヒー
Coffee Roaster
Café Cajon
デザート持ち込みOK
テイクアウトできます　11:00～19:30　火曜定休

やきとり・広島風お好み焼
風船
若葉町2丁目バス停至誠会病院入口　3326-5617

ちょっとしつもん

いつも楽しく『せんがわ21』を読ませて頂いております。さて、テーマをリクエストさせて頂きます。〝神明様（しんめいさま）〟についてお調べ頂き、記事にぜひ取り上げてほしいと思っています。

何故かといいますと、私の子ども（昭和23～35年）の頃、現在の実篤公園の場所は〝しんめいさま〟と呼ばれ、子供達の良い遊び場でした。細いまっすぐな階段を下りて行くと確か簡素な鳥居があり、左側が池、右側に無人の家屋が有ったと思います。実篤さんが居を構えるまで、あの辺りは公共の場所と思い、自由に出入りして遊んでいましたが、まさか地主が居たとは思いませんでした。

そこで戦前あるいは明治・大正時代からどの様な場所で何故神明様と呼ばれ、現在の実篤公園に至ったか、是非調べて頂ければと思っています。

根岸繁雄さん（若葉町1丁目）

回答

蔵見昭八氏（元東部公民館館長　入間町一丁目）から『東部公民館だより』一九九一年一〇月一日号に執筆した記事と資料をいただきました。

神明様のお祭り
相撲・花火・神楽など
実篤公園のむかし

武蔵野の面影の残る実篤公園入口の左側へ坂を下る途中に小さな神社がある。これは公園工事のため移転したもので、もとは公園入口の事務所付近に現在より大きな社があった。地元の人は神明様（滝坂皇大神宮）と呼んでいる。

京王線の開通は、大正二年四月十五日笹塚から調布間である。大正五年の路線図には名所として、神明様が載っているので、かなり有名なところであったことがわかる。またその頃は、すぐ下の崖からの湧水が多く、水しぶきを立て滝のように流れ、沢には魚や蟹などもいた。

この神明様の大きな鳥居は、旧実篤邸の近くに立っていた。そして神明様の大正三年十月一日の発会式における祭典順（プログラム）、四年の秋季大祭案内状をみると当日の催物は岩戸開遊技神楽、角力（相撲）、煙火（花火）、蓄音機（レコード）、音楽隊ともりだくさんの充実した内容である。この秋季大祭には、近郊の人々をはじめ、京王線を利用して来る人もいて仙川、金子（つつじヶ丘）の両駅は混雑したそうである。大勢の人々が余興を見て、露店で飲食したり、玩具などの買い物をした。神社の祭典は村人の大きなレクリエーションの機会であり、当時の楽しい一日を過ごす絶好の場所であった。実篤公園のむかしのことである。

時代は変わっても、調布市実篤公園として人々の思いの場となり、記念館と共に親しまれている。

『調布市史』　民俗編　第7章　民間信仰　表3　市内小祠一覧より

滝坂皇大神宮（清水家の神明社）

若葉町1・31

神社明細帳によると、寛永年間当村吉田兵部が神明社を勧請。明治に入って当村清水彦太郎の所有となり信徒九五名、村内小字瀧坂の清水一苗が総代役を勤めた。大正三年、清水彦太郎は行者の宮井某と意気投合し、滝坂大神宮と改称、大規模な例大祭を催すが、宮井とも行き違いから七年、元の神明社に戻し、現在に至る。現在は清水家の末裔が管理を引き継ぎ、例年九月十五日を大祭としている。神事は、中野区の行者に依頼している。



大きな五つの輪

～元三大師参詣道標のつぶやき～

内田　武

昔、大きな輪を背中に背負い世界中を四年掛けて飛び回るたいそう大きな力持ちがいたそうだ。人は皆〝五輪さま〟と呼び、世界中から是非きてくださいと、偉い人たちがお願いにいったそうだ。けれど五輪さまは大変気の難しい方でめったやたらには、他国にお行きにはなさいませんでした。その訳は、大変お金が掛かり、お金のない小さな国は呼ぶことが出来ないからです。

日本の国は、ローマ五輪が終わった後、その五輪様を是非呼んで見たいと日本中の人々が熱狂し、世界に向けて大きな声を張り上げました。お爺さんやお婆さんは一度でいいから冥土の土産に観てみたいとの願いを世界に向けて声を発したのです。

世界の百八十国以上ある中の、一カ国だけを五輪様はお選びになります。その国はとてもお行儀の良い国か、五輪様がお泊りになっても安全か、外国人に皆が親切であるか、街のようすは綺麗か、道路はよく整備されているか、グランドも整備されているか、五輪様このようにお聞きになりました。

一体五輪様とはどのようなお方なのでしょう。五輪様は世界中から心身を共に鍛えた人達を集め、人間が考えついたありとあらゆる運動の最高の美しさと力強さを発揮し、その国の運動能力の水準の高さを世界にお披露目するお方であります。

そのお方に東京のど真中、代々木の神宮の森にお呼びしたいとお願いしましたところ、五輪様が八年後にいらっしゃると言うことが決まり、日本中がお祭りのように大騒ぎになり、お膝元の東京は大変な騒ぎと喧騒の時代がやってきました。五輪様が起こしになる日は昭和三十九（一九九六）年十月十日に決まりました。

昭和三十一年頃より東京の街は一変するのであります。

まず、競技場の周りから整備を始め、道路、家の立ち退き、鉄道、地下鉄、ガス、水道、公衆便所、選手の宿舎等々、ありとあらゆる公共物の整備と安全確保のため、一斉に工事が始まり東京の地価は鰻のぼりに上昇し、家の立ち退きにより億万長者も随分でたそうだ。

やがて、甲州街道の拡幅工事も西に向かい給田に新道ができ、仙川へと、段々下がってまいりました。そして〝私〟が三〇九年近く元三太師様の道案内のために居た瀧坂上の拡幅が始まりました。昭和三十八年ある日、突然宙に浮いたかと思ったらクレーンでひょいと吊り上げられトラックの荷台に積み込まれました。皆さんの道案内と安全を見守ってきたつもりなのに。

一口で三百年と言いますが、近年では関東大震災、太平洋戦争に若者が戦地へ赴く時なぞは、日の丸の旗を持ち、勝って来るぞと勇ましく、とお国の為送り出した風景を見ております。直ぐ傍に高射砲陣地があり、夜になると空襲警報のサイレンがなりB―29が悠々と三機編隊で飛んでいく、高射砲が火を噴く、上で破裂した破片が道案内人のおでこや頭に幾つもの破片が当たりました。でも案内人の頭は石頭だからちっとや、そっとでは負けはしないのが私の真骨頂だ。

道案内人が深大寺の境内に引っ越してからはまだ日も浅い。でもな、他の者から見ればわしなぞはまだまだ若い方でな、あんなに道が広がらなければ、今後も三百年位は瀧坂上に立つ自信があるがな。

昔はな、内藤新宿から下り、この道案内を見て、右に曲がればガニガラを通り青渭神社に突き当たり、深大寺、大沢方面に行くには近道であり、近藤勇も大沢の道場には必ずこの道を通ったものじゃ。

そうそう、あれから四十六年未だにこの深大寺の境内で立っているわけだ。

（平成二十年四月）



深大寺元三大師参詣道標を滝坂上に

深大寺元三大師参詣道標を元の滝坂上に戻す会　内田　武



私がこの深大寺元三大師参詣道標と深大寺境内で会ったのは今から約30年前、保護司として社会参加活動をしている時でした。犯罪を犯した少年・少女達に来てもらい、保護司、更生保護女性会、BBS、保護観察所、調布警察、調布市、等のお力添えを得ながら庭の掃除、ガラス戸、仏具磨き等を約一〇〇人体制で、毎年11月の最後の日曜日におこなっています。

私も当然加わって掃除等をします。朝礼の前に元三大師道標の前に立つと、何でこの様なところに立たせておくのだと言っているような気がしてなりませんでした。俺は道標としてあの甲州街道に立っていたいのだと。毎年行くたびに必ず今に元の所に立たせてあげるからなと私は心の中で言い続けていました。今保護司を辞め2年位経っていますが、昨年は薪能があり、道標と面と向き合いました。

そしてまた、二〇二〇年に五輪が東京に来るまでには深大寺元三大師参詣道標を元の滝坂上近くに建立してあげたいものだと思う次第であります。（平成29年2月）

深大寺元三大師参詣の道標

元禄16（一七〇三）年、滝坂上に立てられた。「是ヨリ大師尊参詣道　石原宿迄五丁近」と刻まれ、深大寺に祀る、厄除け元三大師にお参りに来る人たちの道しるべとして建てたもの。

甲州街道からこの道標地点で北に曲がり、現在の三鷹市境を経て、青渭神社前を通り、深大寺に詣てたもので、当時の古道は今でもたどることができる。

一九六四年東京オリンピック開催のために道路拡幅に際して深大寺境内に移されたものである。

一九八七年三月に調布市指定郷土資料（民俗資料）に指定されている。

〈市教育委員会の説明文から〉

創業66年　昨年12月5日新装オープン!!
トケイ・メガネ　ナカエ
仙川商店街　仙川町1－11－17　☎3300－0667

植物からの服づくり
ティアンド
03-3326-6827　http://teand.jimdo.com

ネイルサロン Ron's nail
〒182-0002 東京都調布市仙川町1-16-18　杉田第一ビル201　Tel 03-6279-6454
Time 10:00～21:00　土日祝 10:00～20:00　定休日 不定休

Live&Bar Bless
多目的創造スペース
https://i-bless.tumblr.com/
滝坂小学校正門前　☎03-5879-7897

イベントカレンダー

□桐朋学園芸術短期大学
●6月24日㈯・25日㈰
専攻科演劇専攻試演会
●9月23日㈯・24日㈰
桐朋祭
http://www.toho.ac.jp/college/index.html

□白百合女子大学
●6月5日㈪
【チャペルコンサート】日頃の喧騒を忘れ、久しぶりに母校の静かなチャペルを訪れ、パイプオルガンの音色にふれてみませんか。
開演：14時40分
http://www.shirayuri.ac.jp/

□TINY CAFE
●4月8日㈯～18日㈫
高橋カンナ個展
●6月17日㈯
時空兄弟ライブ
マダムギター（長見順）＋大津真
☎3305・0400

□Bless
●4月21日㈮／5月19日㈫PM1：30～3：30
笠原三都恵シャンソン倶楽部
3、000円（1ドリンク付）
生活の片隅にシャンソンがあれば、人生に豊かさが溢れ出す……。
☎5879・7897
http://i-bless.tumblin.com/

□奏音の小箱
●4月22日㈯15：00開演
ディズニーコンサート
大利さやか（ピアノ、奏音の小箱オーナー）、小林恭子（ピアノ）、加藤亜希子（クラリネット）
1時間ほどのコンサート。未就学児も入場できます。
☎03・6750・2902
http://www.canonnokobako.com

□せんがわ劇場
●4月20日㈭～23日㈰
第7回せんがわ劇場演劇コンクール・オーディエンス賞受賞公演
ナイスコンプレックス公演N28
「ナイスコンプレックス」
脚本：キムラ真　演出：弦巻啓太
劇作家の道を歩む主人公は、認知症を患った母の介護と自らの夢に挟まれる。「あなたの手は、何の為にありますか？」
●5月7日㈰11：00
サンデー・マティネ・コンサート
料金：無料　未就学児入場可
●5月10日㈭～14日㈰
第7回せんがわ劇場演劇コンクール・グランプリ受賞公演
情熱のフラミンゴ第3回本公演
「ハリー☆ポッタァーと曖昧なアーチの向こう」
作・演出：島村和秀
情熱のフラミンゴハリーポッタァーシリーズPART1。あの世界一有名な魔法学校の物語がここせんがわにやってくる！
●5月21日㈰11：00
サンデー・マティネ・コンサート
料金：無料　未就学児入場可

●第8回せんがわ劇場演劇コンクール市民審査員募集
オーディエンス賞を選ぶ市民審査員を募集。特典はグランプリオーディエンス賞受賞公演に無料で招待。
【募集期間】2月25日㈯～5月1日㈪
【本選】7月15日㈯、16日㈰
【応募資格】高校生以上で、本選すべての作品を鑑賞し、表彰式に参加できる方（応募多数の場合は抽選）。
http:www.sengawa-gekijo.jp

□実篤記念館
●4月29日㈯～6月11日㈰
今回の展覧会では、洛陽堂のほか、印刷に携わった三秀舎や半七製版印刷所など、あまり注目されることの少ない「出版の裏方・裏事情」にもスポットを当てます。
●5月28日㈰PM1：30～3：00
講演会「『白樺』を支えた洛陽堂」
講師：田中英夫氏（『洛陽堂　河本亀之助小伝～損をしてでも良書を出す・ある出版人の生涯～』〈平成27年　燃焼社〉著者）
会場：調布東部公民館
参加費：540円（資料代）
●5月6日㈯・7日㈰PM1：00～4：00
「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」（春）
実篤の絵の描き方を体感する恒例の催しです。
●5月13日㈯PM1：30～3：00
読書講座「武者小路実篤『友情』を読む」
今も文庫本の刊行が続く『友情』。読書感想文など、新たな視点から読み解きます。
講師：瀧田浩氏（二松学舎大学教授）
☎03・3326・0648
http://www.mushakoji.org

せんがわ誌「コミュニティ防災力」特集を読む

京都市右京区太秦乾町北部自治会　伊藤昭

先ずはこれだけの内容の誌面を作成するご苦労に敬意を表します。また、多様で多量の関係資料をお送り頂きました。以下、印象に残る感想を述べてみます。

1 地盤の理解が重要と思います。「国土地理院　都市圏活断層　東京西南部」（平成８年９月発行）は、「今回の調査では、この図の範囲内には活断層や推定活断層などはみつかりませんでした」と記しております。但し、日本列島全体が、環太平洋火山帯の上にあり、地表にない活断層だらけであると認識する必要があります。更に、国土交通省がＨＰで発表している「振動増幅率」情報は、細かく発表されているので、是非、ご覧になって下さい。

2 「調布市防災マップ」と「調布市洪水ハザードマップ」は、極めて重要と思います。但し、32の避難所と各町の関係性がしかとは見えません。私の小学校区では、幹線道路を挟んで、北側は小学校、南側は高等学校と指定されていますので、イザという時に迷うことはありません。防災マップに「緊急医療救護所」、「給水拠点」、「二次避難所（福祉避難所）」、「広域避難所一覧」と「急傾斜地崩壊危険箇所」などが明示されていることは良いことです。逆に、「緊急時輸送路」が表示されていないのは理解に苦しむところです。

「防災マップ」と「洪水ハザードマップ」の避難所が、少し異なる点は、徹底するのか、各人任せにするのか、避難所と各町の関係性が曖昧です。

3 若葉町自治会の「被災対応要領」（二〇一四）は、大変良くできていると思います。特に、家の中にいる場合で、「組長は、集まった者を連れて、避難所である四中に移動する」と明記されていることは大切です。

4 「緑ヶ丘小・調布第八中避難所運営マニュアル」（平成25年）は、全体として、細部に至るまで、出来すぎるくらい出来ていて、この通り実行できれば素晴らしいと思います。但し、表紙見開きの最後の2点の留意点の内、特に「緑ヶ丘小学校、第八中学校に避難者の町会別振り分けを行う」とありますが、あらかじめ決めておかないと、現場は混乱すると予想されます。

5 「特集：コミュニティ防災力」について。若葉学校地区協議会の防災訓練状況が口絵写真でよくわかります。多様な資機材と担当部署ごとの訓練規模は、質の高いものでうらやましい限りです。又、熊本益城町と仙川～心の交流の写真もよくやられましたの一言につきます。

甲州街道の北側を仮にA地区として、松原通りの西側をB地区、東側をC地区と大きく振り分けて考えることが重要なポイントではないかと思います。C地区に避難所の新設が必要と思います。例えば、ＮＴＴ中央研修センター、同体育館など。何にしても、避難所毎に、少なくとも東北大震災時の避難率（12・5％）の収容数が可能なのかを把握しておくことが必要です。

細かいことですが、防災井戸は地図上に見当たりません。給水拠点が6カ所あることは素晴らしいことですが、水道管が破壊されたときに備えて、防災井戸を確保しておくことは重要と思います。

防災力座談会は、取り組み状況や、課題が明確されていて大変有効と思います。

防災士の活動、漏電火災対策、日赤奉仕団の活動、「自治会だより」から、熊本支援活動報告、仙川地区の被害想定と防災施策、橋梁の耐震化など、多彩に、真剣に取り組みが進められていることが良く分かる内容です。

（二〇一七／一／一）

わが故郷、仙川

西尾理

仙川は、私の生まれた場所だ。両親に育てられ、この地に住んできた。大学生になって下宿し、また社会人になってから、さらに内地留学して仙川の地を離れていた時期もあったが、いつも仙川は私の帰る場所であった。8年前、母親が倒れ、父親のことも心配になり、仙川に戻ってきた。仕事と両親のことで慌ただしい毎日であったが、仙川の街に出るとホッとしたものだった。

仙川の街は、著しく発展している。びっくりしながらも、それを一抹の寂しさとして感じている自分がいる。自分が住んでいるアパートの付近に大きな道ができる。今、工事中だ。かなり前に、実家に戻ってくると必ず立ち寄った喫茶店〝らら〟が閉店した。〝らら〟のマスター（女性）は元気なのかな。高校生の時から通っていたから……。休みの時、必ず行っていたシャノワールというチェーン店の喫茶店も数年前に閉店した。今、昔から関係のあるお店は、親の世代からの佐藤電気、幼なじみが夫婦で経営しているキクチビルド、毎回お世話になっている理容院のSERAPH、神代書店ぐらいになってしまった。チェーン店がめっきり増えた。ただ最近、空彩というごはんカフェを見つけ、週に1回ぐらいの割合で通っている。そこで知り合った某女性フルート奏者のコンサートに行ったりしている。

数年前に父親が亡くなり、昨年の3月に母親が亡くなった。実家を整理し、私も今住むアパートから引越しすることになった。仙川から完全に離れることになったのだ。ここ半年、それが無性に寂しい。胸が締め付けられる思いがする。もう帰る場所がないのだという気持ちがそうさせているのかもしれない。仕事が全部終わったら、生まれ故郷の仙川に帰って来ようかなと考える毎日である。最後は仙川を終焉の地にしたいな。どうなるかわからないけど……。

（若葉町2丁目）

カウンターで思わずメモしたお話

尾崎　聖 @slowballad

週末に、ある時は書斎、またある時は（家庭からの）核シェルター代わりに通っている、小さな喫茶店が若葉町にある。

そこで交わされる会話は実に様々で、趣味、仕事の話からお悩み相談、時にはお腹を抱えて笑ってしまうような四方山の他愛もない話も多い。話している本人は何気なく話していても聞いている方にとっては、とても面白い話があり、時々、思わずスマートホンにメモして楽しんでいる。

ある時、常連の野球好きの（ドラゴンズファンだったかな?）お父さんが店に入ってきた。手には〝小さなビニール袋〟を持っている。

「こんにちは」

この店では初めての人でも多くの人が挨拶を交わす。

「どこかにお出かけだったのですか?」

「庭で草木の手入れしてたんだ」

「いいですね。庭いじりしてるんですね?」

「いや、違うんだよ。ばあさんが草のツルが壁に伝って伸びて来たから、切ってくれって」

「そういうことですか。それは朝からお疲れ様ですね」

それで会話は終わり、てっきりいつもの野球の話題に移るものと思った。

「それで今、島忠に行って、インターホン買ってきたの。」

「へ?　インターホン?」

「いや、ばあさんがインターホンが鳴らないって言うからインターホンを交換しようと思って」

「凄いですね。手入れの後は日曜大工もされるんですね」

私、マスター、もう一人のお客さんも、庭いじりとインターホンの話が頭の中で繋がらない。

「いやね、草のツルを切ってたら、間違ってインターホンの配線も切っちゃったんだよ」

「それで今買ってきたの。ほら」って見せてくれたのは、持ってきた〝小さなビニール袋〟だった。
「まるでコントか、サザエさんの世界じゃないですか!?」
お父さんも笑っているが、周りの私たちは大爆笑に。
他にもいろいろお話はあるけれど、機会があればまたどこかで。
（成城9丁目）

次号23号の企画予定とお願い

○本年8月刊行予定の第23号の第一特集は「せんがわで健康を守る人たち」です。この企画は第2号（78年10―11）、第16号（95年新春）に次いで3回目となります。医院・歯科医院・治療院・薬局各位にチャーミングなアンケートを実施します。
第二特集は、「ゼロエミッション～省資源・エネルギー」を予定しています。
○皆様からの玉稿大募集!!
次のテーマでの玉稿を7月10日㈪頃までに、メール・FAX・郵送等でお寄せいただきましたら幸いです。
・本誌19～22号への感想
・私の至福の時
・私の趣味・道楽
・身近な奇人・変人さん
・こんな場・スペースが欲しい
・私の気分転換法は
・私のエネルギー充電法
・私のターニングポイント
・ワタシ怒ってます!!
・私のふるさと賛
・私のボランティア活動

丹波路　コーリン　松波
笹子見し幸巻餅の柔ら幸　汀女
御菓子司
光輪堂
若葉町 2－14－5　木曜定休　☎3308－1455

個性あざやかに
主張ある街づくりを…。
株式会社 グローバル設計
東京都調布市仙川町1－15－47　ひなたビル
TEL：03－3300－0081

アシッド療術エステサロン
HiMika
ひみ家


いたまない・かぶれない
酸性カラー・酸性パーマ
創作カット・着付・メイク
（お子様コーナーあります）
ビューテー京王YOURレモン
仙川店
桐朋学園正門前　☎03-3300-8667

各種の記念切手シート販売中
〒調布仙川郵便局
※調布市市民課の印鑑証明書・住民票・戸籍謄抄本の交付　TEL:03-3300-3001　FAX:03-3300-8317

ご当地ピンクモール



▼Blessの想い～仙川を去るの記

仙川での10年間が今にして思えば長かったのか短かったのか……。

流動的な存在ともいえる「DingDong」というアジトに終止符を打って、つつじヶ丘に新しく「Bless」として生まれ変わりました。

世界を携帯して持ち歩く時代に人と人が時間と場所を共有して生きることが、どんどん難しくなっていくのを感じながら、仙川DingDongを離れて、つつじヶ丘Blessに移転したのは、この街に人と時間と場所のバランスの良さを感じたからです。

「BLess」の意味？　……それはBlessで時間をかけて偶然に出会うあなたと見つけていこうと思っています。

つつじヶ丘Blessでお待ちしています。

Bless代表　Changie

☎5879・7897

▼コフク仙川リニューアル

kohukusengawaは、カフェとしてリニューアル致しました。

大人気のパインミーサンドに加え、新メニューの自家製チキンストックのスープ、ドリンクメニューも増えましたので是非お気軽にご来店くださいませ。

☎5314・9240

teshima
OMUSUBI
調布市仙川町1-12-12 Tel&Fax03-3307-5649

憩いのカラオケスナック♪
入り江
昼の部 11:30～18:00　夜の部 18:00～24:00 日・祝休み
仙川町 1-12-51　フジトビル 2F　☎3309-7308



いざかや
メネフネ
17:00～23:30　定休　日曜
Tel. 090-9130-3635　神代書店 2F

Elégance
boutique
ehime
CHOFU SENGAWA 1-12-12
TEL.3326-2476

ランチ　11：30～13：30
ディナー　17：30～22：30
仙川商店街南側　笹本ビル 1F
Tel.03-3307-7033 ／水曜定休
http://www.sasara-sasara.com
sasara
JAPANESE STYLE DINING
名代 トンカツ 2F
ささ本
03－3300－2661
11:30 ～ 14:00
18:00 ～ 21:00
水曜定休

季節のおまかせ蒔
月・火定休
11時半～13時半・18時～20時
(03)5314-9095
www.maki-sengawa.com
蒔
Cuisine Japonaise
まき

CAFE & BAR
TINY CAFE
日々の食事とくつろぎの場所
店内の壁を使って展示できます Tel: 3305-0400

BOUTIQUE
左岸
SAGAN
日本料理
出張専門
さがん
☎3307-8448

納々屋
ななや
自然食糧品と地方の本
〒03-5315-3778
お弁当(778円)予約承ります

まちニティ・ショップ・カタログ

……広告掲載店INDEX……

●着る

fashion aZi …… 表Ⅱ
ブティック伊奈河 …… 18
ブティックehime …… 37
左岸 …… 37
MEN'sツカモト …… 18
きものさろん 服部 …… 10
Favorinico …… 表Ⅱ

●飾る

ヘアスタジオ キャラ …… 2
ビューテー京王YOURレモン …… 36
Ron's Nail …… 32

●飲む・食べる・憩う

Cafe&Bar aZi …… 表Ⅱ
Cafe Anmar …… 29
アンカーヒア …… 29
一富士 …… 2
酒どころ 入り江 …… 37
Cafe Cajon（カホン） … 29
広味坊 …… 29
きくや仙川 …… 29
こしじ …… 2
東風庵（こちあん） …… 表Ⅱ
菜遊記 …… 29
日本料理さがん …… 37
ささ本 …… 37
籔（ささら） …… 37
三進 …… 表Ⅲ
ジャリーヴ …… 10
空彩（そらいろ） …… 10
中華 代一元 …… 29
Tiny cafe …… 37
とんかつ仙川 …… 2
なみはな …… 2
和酒 ばさら …… 29
幡乃屋 …… 2
ぱんぷきん …… 29
平野屋 …… 29
風船 …… 29
蒔 …… 37
まや徳 …… 29
萬来軒 …… 2
支那そば めでた屋 …… 29
メネフネ …… 37
LARGO …… 29

●買う

AOSAN …… 37
光輪堂 …… 36
omusubi teshima … 37
サトウデンキ …… 表Ⅲ
スイスドウ …… 29
セブン-イレブン調布仙川店 … 2
ちゃっぷりんK …… 10
茶安土 …… 32
メガネ・トケイ ナカエ …… 32
納々屋 …… 37
藤屋 …… 表Ⅲ
森のテラス …… 18
ヤナバ電機商会 …… 29

●見る・読む・聴く

ASA仙川 …… 18
サンライズ現像所 …… 10
仙川地図研究所 …… 18
神代書店 …… 表Ⅱ
文紀堂書店 …… 10

●習う・創る・遊ぶ

サンミモレ・イナガワ …… 18
コトリボイス …… 10
Bless …… 32
motte t …… 10

●からだ・こころ

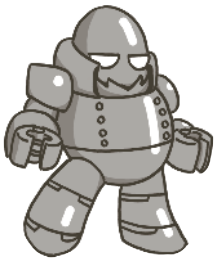
アシッド療術エステ HiMika … 36
大塚矯正歯科医院 …… 表Ⅱ
栗山接骨院 …… 18
けいじゅ整骨院 …… 29
仙川耳鼻咽喉科 …… 18
前田整骨院 …… 29
若葉歯科医院 …… 18

●住まう・くるま・くらし

後迫測量設計事務所 …… 表Ⅱ
グローバル設計 …… 36
城西運送㈱ …… 18
多摩ボデー整備 …… 表Ⅱ
フェリカインテリア …… 表Ⅱ
武蔵野開発 …… 表Ⅱ
武蔵野ハウジング株式会社 …… 表Ⅱ
渡辺建設 …… 18

●備える

調布仙川郵便局 …… 36



編集制作スタッフ及び編集協力の各位　（敬称略）

●編集制作スタッフ●

表紙写真：提供／山内ぶどう園
表紙タイトル（創刊号より）：山岡義典
口絵写真：提供／山内ぶどう園　佐美佑
編集デザイン・制作：山下琢
題字・カット：こやまきょうへい　山下琢
松浦麻姫・草薙春菜・小林愛里（桐朋女子中・高校美術部）
データ入力：山下琢　大野洋人　前川泰治
地図制作：小森葵・横山圭（仙川地図研究所）
広告営業：井山順子　大野洋人
印刷／製本：松本剛

●編集協力●

山岡博（西つつじヶ丘 2）、川口信子（仙川町 2）、川原慎一（若葉町 2）、
松延洋平（コーネル大学）、落合英樹（白百合女子大学）、高津文（白百合女子大学）、
千葉裕子（桐朋女子中・高校）、今野淳一（桐朋女子中・高校）、鈴木祐介（緑ヶ丘小学校）、
真保俊哉（都立神代高校）、片山敏郎（都立神代高校）、本橋永一（JA マインズ神代支店）、
馬部隆司（JA マインズ神代支店）、加川真莉菜（JA マインズ広報課）、
江田信久（調布市都市整備部）、髙木裕一（調布市都市計画課）、金子勝巳（東部公民館）

せんがわ 21　人財＆カンパ大募集 !!

せんがわまちニティ情報センターは、仙川における総合的な情報センターとして、仙川の資料室・広報室・企画室の役割を担い、雑誌社やボランティアバンク、シンクタンクの機能を追求しています。有志のボランティア活動が基本で、チエ・情報とパワー・カネを持ち寄り、センター及び「せんがわ 21」の維持運営にあたっています。現在、定期刊行のために取材・編集及び制作スタッフを募集しております。また、資金面でのご支援もいただきながら、新しき街・せんがわづくりのための諸活動を展開していきます。

□カンパ誌代はとは――コミュニティ共有財への“先読後志”での誌代
カンパ誌代……1 冊 300 円

□賛助会員とは――センターの目的と活動に賛同し、維持のために支援してくれる人
賛助会員会費……一口 5,000 円のカンパ

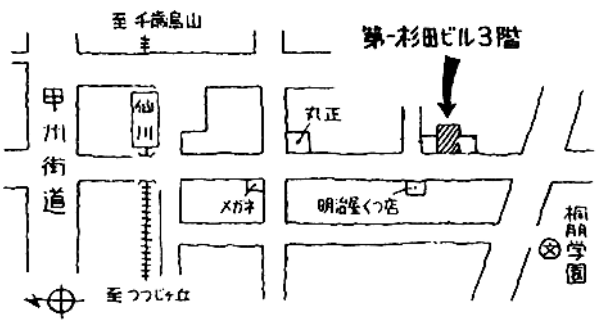
□維持読者とは――『せんがわ 21』の刊行維持のために支援してくれる人
維持読者会費……一口 1,000 円のカンパ

◆お申し込み・会費は郵送あるいは当方へお電話くだされば取りに伺います。なお、下記の口座もご利用ください。当該支店にお申し込みいただければ、手数料はかかりません。

郵便振替：口座番号００１５０－６－５７０６８８
加入者名　せんがわまちニティ情報センター
銀行等：芝信用金庫　仙川支店　普通９０３１２５８
みずほ銀行　調布仙川支店　普通１８０２３４８
三菱東京 UFJ 銀行　仙川支店　普通７７３４７
口座名　せんがわまちニティ情報センター　青野友太郎

編集室から

▼「都転入超過／市部で唯一調布10傑入り」が朝日新聞2月14日版に報道された。二、八三七人で8位。翌15日にネット調査「新婚夫妻が暮らしやすい都内の穴場駅1位仙川」との記事を発見。都内で3回以上の引越経験者だけを対象にした昨年10月の調査結果だ。回答数二〇六人と少数だが、その理由の6事項はなかなか説得力あり。都心近くの割に閑静で治安よい、幼稚園から大学まで教育機関が充実、庶民的な店と高級スーパーがあり便利、個性ある飲食店が充実し、おしゃれなスポットあり、成城学園が近く、小田急線も利用可、23区に隣接しながらも家賃がお得。2位阿佐ヶ谷、3位立川、4位吉祥寺。ひょっとして、本誌の存在もこれらの高評価に貢献か⁉



▼小センターのHPがスタート。本誌創刊号～18号のバックナンバーもご高読可となった。どうぞ‼

□『せんがわ21』読者の集い

・4月22日（土）13：30～15：30
・5月20日（土）15：00～17：00

本誌編集室

お気軽にご参加ください！

――会計報告――

○賛助会費受領（一口五千円）
小幡邦仁　榎本照運　吉田萃　大村昌代
山下琢　松尾洋介　明西寺　住吉廣行
斉藤慶太郎　新井七吾　川口信子
白百合女子大学　計36口

○維持読者会費受領（一口千円）
大和田正治　安保峰子　吉澤喜美子
坊野秀美　伊藤恭子　中澤軍治　伊藤昭
仙川洋しょく屋　青野裕美　賀来健輔
岡田喜美子　宮本良博　井上早苗　伊藤
西脇透　堀尾輝夫　大村哲夫　松本廣子
平田直之　藤丸貞男　計30口

○カンパ誌代（一冊三百円）
7名13冊　3、900円

○委託販売（一冊七〇〇円・二一〇円）
14号9冊　19号11冊　20号15冊
21号18冊　20、930円

○広告収入（第21号）
75件　591、500円

○合計　826、330円

各位のご支援に深謝いたします。

編集後記

▼約10年仙川に暮らしていたが、今回の雑誌のお手伝いをすることで初めて知ることばかりでとても新鮮でした。仙川の衰退がささやかれている今、まだまだ面白いお店がたくさんあるんだ、と改めて再確認することが出来ました。これからの仙川の発展のために頑張っていきたいと思いました！

（大野洋人）

▼住みよい街に奇人あり、変人あり‼今号で「仙川畸人変人列伝」を書きたかったのですが、作業の時間がとれませんでした。次号こそ実現させたい。どなたか、とびきりの奇人変人を私に紹介してください。

（桑原昇）

▼字―仮名の濃度差がある程度は有効になる。いわゆる欧文組版においては、版面の濃度がある程度一定となることが好ましいとされるが、和文においては濃度差を設けることが可読性の

（山下琢）

▼小さな仙川の街の社会課題は日本・世界の課題と通底している。まずは足元のせんがわまちニティを〝気持ちよい社会〟にしませう‼

（青野友太郎）

せんがわ21　第22号
農・食・いのち
主権者教育のこれから
発行日：2017年3月25日
頒価：カンパ誌代　300円
発行部数：4000部
編集長：佐美佑
編集発行人：青野友太郎
編集及発行所：
せんがわまちニティ情報センター
東京都調布市仙川町1・16・18
第一杉田ビル3階
〒182―0002
T&F　03・3326・2707
sengawa21.aono@jcom.home.ne.jp
http://www.sengawa21.net/
印刷・製本　平河工業社



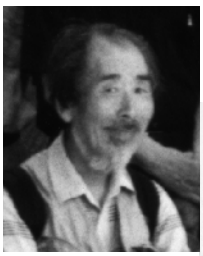
園学ギャラリー

若葉町にある山田茂雄造園事務所／森のテラス内に、「園学（そのがく）ギャラリー」というスペースがあります。ギャラリー内には造園家　野澤清氏（一九三二～二〇〇六）の図面や蔵書、スケッチなどが展示されており、造園を学ぶ学生や、森のテラスを訪れる人へ公開されています。

野澤氏は若葉町1丁目に事務所を構えていた中島健氏の「綜合庭園研究室」に勤め、山田の先輩でありました。その作品は仙川近辺でも観ることができ、「世田谷区立美術館」や「多磨霊園納骨堂」などがあります。

野澤氏は「園学（そのがく）」という独自の哲学をもっており、「園」と「庭」を分けて考えていました。いわゆる、一般的な日本庭園は、権力者達が観る者を意識して造り上げた物の「庭」であるとしています。そして、本来の庭とは「園」を起源とし、山谷森林の中の心地の良い場であると定義しています。それは、ひと休みしたり、水辺が近くにあったり、木陰や坐れる所、景色のより開けた所でした。その哲学から、野澤氏の造園は、その場を尊重する物であり、その土地の条件を大切にして作庭されています。名園のスタイルを真似して造るのではなく、自然の中の「人、天、土、水、緑、光、風」、この七つの要素を感じ、理解し、それを表現することを説いています。

また、造園にとどまらない野澤氏の感性を伝えるべく、旅行時や日々のスケッチ、春を感じる詩が添えられた年賀状などが展示されています。本当の美とは、豊かさとは、そんな思索を巡らせたくなるギャラリーです。（山田芙美子）



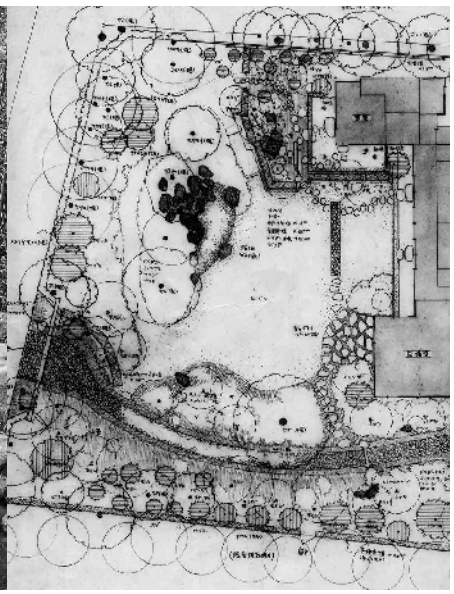
▲野澤清氏



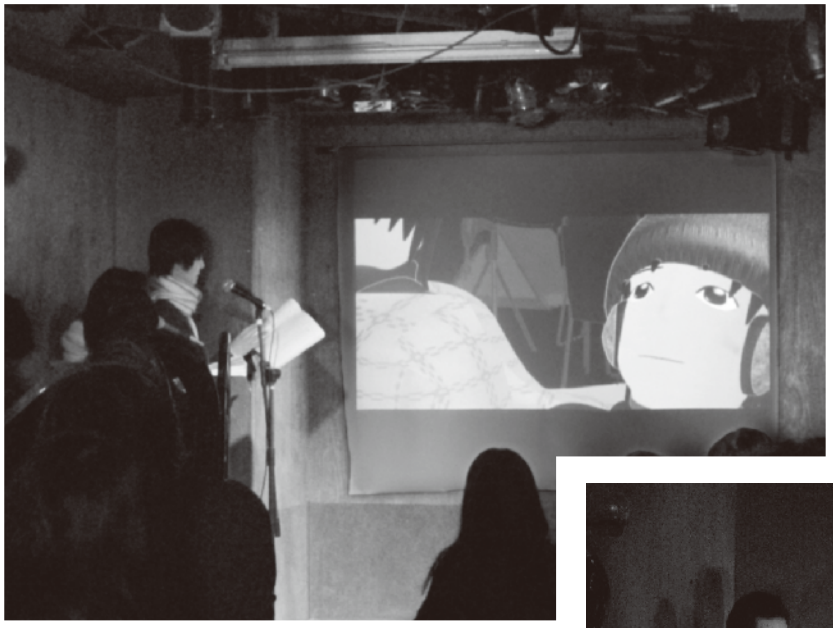
山田茂雄造園事務所内
見学無料
調布市若葉町 1-32-13
mail: info@moritera.com
☎03-3307-1987
10:00～16:00（月休）



▲野澤氏作品



▲個人邸　平面図





コトリボイス
KOTORIVOICE









株式会社コトリボイスは声優・ナレータープロダクション。Live Bar Ding-Dong さんが新装開店された“Bless”にて、2 月 4 日（土）にリーディングライブを行いました。アニメーション作品に合わせた生のお芝居や仙川にまつわる戯曲など、どなた様でも楽しめるイベントです。また秋口の開催を予定しているので、ぜひお越しください。ナレーションや司会業のご相談もお気軽にどうぞ！

世田谷区上祖師谷5-31-10 ブリーズコート上祖師谷301
TEL: 03-6884-6951 ／ email: info@kotori-voice.jp ／ URL: http://kotori-voice.jp/

Live&Bar Bless





音楽の街・仙川で、最高音質の環境を味わってみませんか？

仙川フィックスホールの特徴

最大席数 150 席 （1 階 100 席 2 階 50 席）	スタインウェイ （ハンブルク B 型）
ご希望に応じた 自由な席配置	150 インチの巨大な スクリーン使用可
仙川駅から徒歩 5 分の 好立地	多彩なジャンルに 対応可能な舞台
オーディションなどに 向けての録音可	附帯設備・楽屋使用料 も含んだ料金プラン
3 時間で 1 万円 + 税〜 のリハーサルプラン	1 階・2 階それぞれに スピーカーを設置可

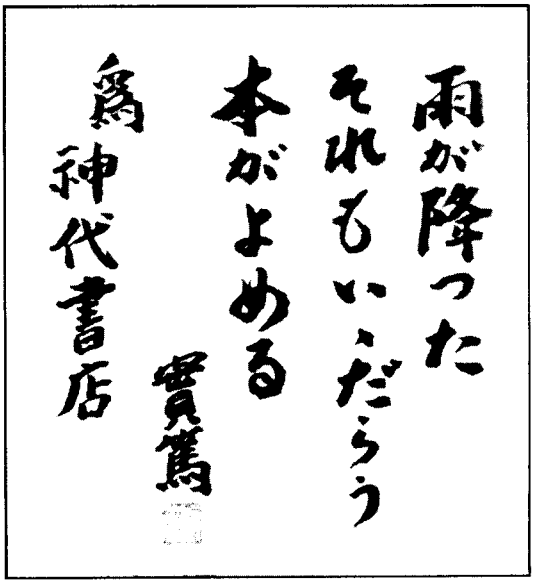


仙川フィックスホール

住所：東京都調布市仙川町 1-25-2
アヴェニュー北プラザ 2 階

TEL：042-370-1844

H P：http://soundfix.jp



書籍と文具　神代書店

桐朋学園前　☎3300-5633

土●地　売建分仲　買売譲介

住いの
総合コンサルタント

建●物　調測設登　査量計記

地元で創業50年
武蔵野グループ

武蔵野開発株式会社

武蔵野ハウジング株式会社

株式会社後迫（うしろさこ）測量設計事務所

〒182-0002　東京都調布市仙川町1-12　武蔵野ビル　TEL　03（3308）1277（代表）
FAX　03（3309）9121

測量士・一級土木施工管理技士・土地家屋調査士・一級造園施工管理技士

代表取締役　後迫　巖

専務取締役　後迫　武



せんがわ劇場
サンデー・マティネ・コンサート

市民のみなさんに人気のあるプログラムで、クラシック音楽を中心に、世界各地の楽器や音楽、日本の伝統音楽の紹介も行う。活躍が期待される若い音楽家や、国内外で演奏会を行っているプロの演奏家も出演します。
　年間に約 20 回の公演があり、入場料は無料です。

仙川プロデュースびと



合田　香

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。演奏活動などを経て現在は母校、桐朋学園大学でオーケストラ担当教員。
　せんがわ劇場音楽コーディネーター、調布市文化・コミュニティ財団評議員も務めている。
　現在までにサイトウキネンオーケストラなど数多くのオーケストラのスタッフとして活動し、紀尾井ホールのレジデント・オーケストラ「紀尾井シンフォニエッタ」ではオープン前からオーケストラの専門スタッフとして招かれ、紀尾井シンフォニエッタの運営に尽力した。オーケストラの教育プログラムに詳しく、世界的指揮者チョン・ミョン・フン氏が韓国・インチョンを中心に開催している「アジア・フィルハーモニー・オーケストラ・アカデミー（APOA）の「アーティスティック・アドヴァイザー」を始め音楽学生のオーケストラプログラムの重要なポストを歴任している。



松井　康司

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ドイツ国立フライブルク音楽大学大学院課程修了。
　現在、桐朋学園芸術短期大学教授。東京室内歌劇場理事。二期会会員。調布市せんがわ劇場音楽コーディネーター。
　演連コンサート、音楽之友社主催の日本歌曲シリーズをはじめ多くのコンサートに出演している他、企画も手がけている。オペラにおいては二期会公演「真夏の夜の夢」のスタブリンクをはじめ、「魔笛」のモノスタトス、「不思議の国のアリス」の笑い猫等、個性的な脇役にて高い評価を得ている。また、東京室内歌劇場公演「リュー・トゥンの夢」のリュー・トゥン役にてソウル室内オペラフェスティバルに参加している。CD「松井康司が歌う日本の抒情～やはらかに～」「朗読と歌によるシューベルト歌曲集」「松井康司が歌う日本の抒情～小さな法螺～」を発売中。レコード芸術誌上でも高い評価を得ている。日本音楽コンクール入選。奏楽堂日本歌曲コンクール第３位入賞。